## 【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書

【提出先】 関東財務局長殿

【提出日】 2025年10月17日提出

【発行者名】 SBI岡三アセットマネジメント株式会社

三重県応援・債券ファンド(1年決算型)

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 塩川 克史

【本店の所在の場所】 東京都中央区京橋二丁目2番1号

【事務連絡者氏名】 前田 路子

【電話番号】 03-3516-1432

【届出の対象とした募集(売出)内国投資

信託受益証券に係るファンドの名称】 【届出の対象とした募集(売出)内国投資 継続募集額(2025年10月18日から2026年4月17日まで)

信託受益証券の金額】 5,000億円を上限とします。

【縦覧に供する場所】 該当事項はありません。

## 第一部【証券情報】

## (1)【ファンドの名称】

三重県応援・債券ファンド (1年決算型) (以下「ファンド」といいます。)

## (2) 【内国投資信託受益証券の形態等】

追加型証券投資信託の振替内国投資信託受益権です。

当初元本は、1口当たり1円です。

委託会社の依頼により、信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供された信用格付、または信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供される予定の信用格付はありません。

ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律(以下「社振法」といいます。)の規定の適用を受け、受益権の帰属は、振替機関及び当該振替機関の下位の口座管理機関(社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。)の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります(以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。)。委託会社であるSBI岡三アセットマネジメント株式会社は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。

#### (3)【発行(売出)価額の総額】

5,000億円を上限とします。

#### (4)【発行(売出)価格】

取得申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

「分配金再投資コース」の取得申込者が、収益分配金の再投資によりファンドを買付ける場合 には、決算日の基準価額とします。

「基準価額」とは、ファンドの計算日の純資産総額を計算日の受益権総口数で除した1口当たりの純資産価額をいいます。基準価額は、組入有価証券等の値動き等により日々変動します。なお、便宜上1万口当たりで表示されることがあります。

基準価額は、原則として委託会社の毎営業日に計算されます。

基準価額は、販売会社または下記の照会先にお問い合わせください。

照会先 SBI岡三アセットマネジメント株式会社

電話番号 03-3516-1300

受付時間 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ https://www.sbiokasan-am.co.jp

## (5)【申込手数料】

申込金額(取得申込受付日の翌営業日の基準価額に申込口数を乗じて得た額)に、販売会社が 独自に定める手数料率を乗じて得た額

手数料率の上限は、3.3%(税抜3.0%)です。手数料率は変更となる場合があります。詳細につきましては、販売会社にご確認下さい。

申込手数料は、ファンドの商品説明および販売事務手続き等の対価として販売会社に支払われます。

「分配金再投資コース」の取得申込者が、収益分配金の再投資によりファンドを買付ける場合には、無手数料とします。詳細につきましては、販売会社又は委託会社にお問い合わせ下さい。

お問合わせ先については、(4) [発行(売出)価格]に記載されている問合わせ先をご覧下さい。

追加型証券投資信託「三重県応援・債券ファンド(毎月決算型)」の受益者が、当該ファンドからのスイッチング(乗換え)により、同一の販売会社でファンドを買付ける場合には、申込手数料の一部又は全部の割引を受けられる場合があります。詳細につきましては、販売会社にお問い合わせ下さい。

## (6)【申込単位】

販売会社が定める単位とします。詳細につきましては、販売会社にご確認下さい。 お問合わせ先については、(4)[発行(売出)価格]に記載されている問合わせ先をご覧下 さい。

#### (7)【申込期間】

2025年10月18日から2026年 4月17日まで

申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新する予定です。

#### (8)【申込取扱場所】

申込取扱場所については、委託会社にお問い合わせ下さい。

お問合わせ先については、(4) [発行(売出)価格]に記載されている問合わせ先をご覧下さい。

#### (9)【払込期日】

販売会社が定める期日までに申込代金(申込金額、申込手数料および当該手数料にかかる消費税 等相当額の合計額をいいます。)を販売会社にお支払い下さい。

各取得申込受付日の発行価額の総額は、販売会社によって追加信託が行われる日に、委託会社の 指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払い込まれます。

#### (10)【払込取扱場所】

取得申込みを行った販売会社の本・支店等で払込みの取扱いを行います。

詳細につきましては、販売会社又は委託会社にお問い合わせ下さい。 お問合わせ先については、(4) [発行(売出)価格]に記載されている問合わせ先をご覧下さい。

## (11)【振替機関に関する事項】

## 株式会社 証券保管振替機構

## (12)【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【ファンド情報】

## 第1【ファンドの状況】

## 1【ファンドの性格】

## (1)【ファンドの目的及び基本的性格】

## ファンドの目的

ファンドは、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

## 信託金の限度額

委託会社は、受託会社と合意のうえ、金5,000億円を限度として信託金を追加することができます。委託会社は、受託会社と合意のうえ、この限度額を変更することができます。

## ファンドの商品分類

一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類および属性区分は、以下のとおりです。

商品分類表(ファンドが該当する商品分類を網掛け表示しています。)

<u>                                      </u>	90回刀浜で約5517衣小し	<u>/ ( )                                  </u>
単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 ( 収益の源泉 )
単位型	国 内	株 式 <b>債 券</b>
	海外	不動産投信
追加型	内外	その他資産 ( )
		資産複合

## 商品分類の定義

追加型	一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財
	産とともに運用されるファンドをいう。
内外	目論見書又は投資信託約款において、国内及び海外の資産による投資収益
	を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。
債券	目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実
	質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいう。

属性区分表(ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。)

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
3/2//3/2//	//\ <del>\\\\</del>	32577327	3227776	, ,,,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,,

			, HI	山社分庙山青(内国投真信
株式 一大中 一大中 一大中 一大中 一大中 一大中 一大中 一大中 一大中 一大中	<b>年1回</b> 年2回 年4回 年6回月) 年12回月) 日々の他)	グローバル ( <b>日本</b> 北米 欧州 <b>アジア</b> オセ 南 リ 東 中 ( エマージング	ファミリーファ ンド ファンド・オ プ・ファンズ	あり())
			<u> </u>	

ファンドは、投資信託証券を主要投資対象とするファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行うため、属性区分におけるファンドの投資対象資産は、「その他資産(投資信託証券)」となり、商品分類における投資対象資産(収益の源泉)である「債券」とは分類・区分が異なります。

属性区分表に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

## 属性区分の定義

123 12 CE 73 V7 AC 32	
その他資産	目論見書又は投資信託約款において、投資信託証券への投資を通じて、主
(投資信託証券	として債券 一般へ実質的に投資する旨の記載があるものをいう。
(債券 一般))	債券 一般とは、公債、社債、その他債券属性にあてはまらないすべての
	ものをいう。
年1回	目論見書又は投資信託約款において、年1回決算する旨の記載があるもの
	をいう。
日本	目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本の資
	産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
アジア	目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本を除
	くアジア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
オセアニア	目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益がオセアニ
	ア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
ファンド・オブ・	「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・
ファンズ	ファンズをいう。
為替ヘッジなし	目論見書又は投資信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載が
	あるもの又は為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいう。

(注)ファンドが該当しない商品分類および属性区分の定義につきましては、一般社団法人投資信託協会のホームページ(https://www.toushin.or.jp/)でご覧いただけます。

ファンドの特色には、当ファンドと実質的な投資対象資産が同じで、決算頻度が異なるファンドの情

報を合わせて説明している部分があります。

# ファンドの特色

- 1 以下の投資信託証券への投資を通じて、実質的にアジア・オセアニア地域および国内の債券に投資します。
  - アジア・ニュージーランド債券マザーファンド
  - 三重県関連債券マザーファンド
  - ●フランクリン・テンプルトン・オーストラリア債券ファンド(適格機関投資家専用)<運用会社>フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社(投資顧問会社)ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーワイ・リミテッド
    - アジア・ニュージーランド債券マザーファンドは、アジア諸国・ニュージーランドの現 地通貨建ソブリン債(国債、政府保証債等)およびそれと概ね同等の投資効果が期 待できる債券等に投資します。



## アジア・ニュージーランド債券マザーファンドの投資対象国・地域

インド、インドネシア、マレーシア、タイ、韓国、中国、シンガポール、フィリピン、台湾、 ベトナム、日本、ニュージーランド

(注)上記すべてに投資するとは限りません。上記以外のアジア諸国・地域に投資する場合もあります。

- ・三重県関連債券マザーファンドは、三重県に関わりが深い企業等の発行する社債、 および三重県の自治体の発行する公債に投資します。
- フランクリン・テンプルトン・オーストラリア債券ファンド(適格機関投資家専用)は、 豪ドル建の国債、州政府債、国際機関債、社債、モーゲージ証券及び資産担保証券 等で、原則としてBBB-/Baa3格以上の格付を付与されたものに投資します。



フランクリン・テンプルトン・オーストラリア債券ファンド(適格機関投資家 専用)の主な投資対象国

オーストラリア



フランクリン・テンプルトン・オーストラリア債券ファンド(適格機関投資家専用)の運用 会社である「フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社」および運用指図に関する権限の委託を受けて実際の運用を担当する「ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーワイ・リミテッド」は、フランクリン・テンプルトン・グループの資産運用会社です。

- 2 各投資信託証券の組入比率は、投資対象ファンドの収益性、投資対象国の債券市場の利回り水準と流動性、金利および為替動向等を勘案して決定します。なお組入比率の合計は高位を保つことを基本とします。
- 3 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。



三重県の明日につながる次世代育成、社会福祉向上、環境保護等に関連した取組みおよび施設等に信託報酬から寄附を行います。

寄附の金額は、各ファンドの日々の純資産総額に対し年率0.15%とします。

- ●寄附は、委託会社が受取る信託報酬から行います。なお、委託会社、販売会社、受託 会社が受取る信託報酬は、寄附を行うことを考慮して決定しております。
- ●寄附の方法等につきましては、委託会社が、三重県庁との協議により決定します。寄附の具体的な内容等につきましては、運用報告書等を通じて、受益者にご報告します。

## ●ファンドの仕組み

ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ形式で運用します。

ファンド・オブ・ファンズ形式とは、他の投資信託証券に投資することにより運用を行う形式です。



※ファンドの取扱いは販売会社によって異なります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

※各ファンド間でスイッチングが可能です。スイッチングの取扱いは販売会社によって異なります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

## ●分配方針

## 三重県応援・債券ファンド(毎月決算型)

毎月20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。

## 三重県応援・債券ファンド(1年決算型)

毎年1月20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。

## (各ファンド共通事項)

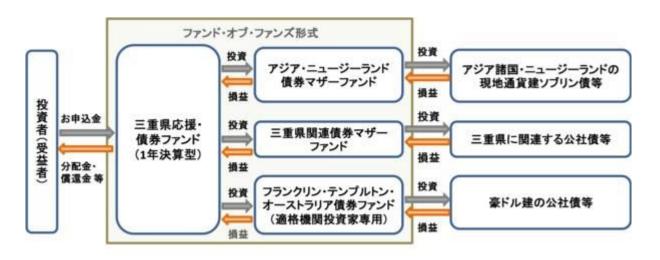
- ◆分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
  - 繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属 すべき配当等収益を含むものとします。
- 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。
- ※分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## (2)【ファンドの沿革】

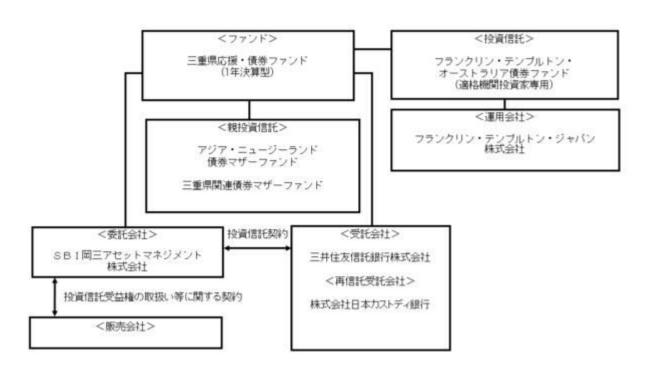
2014年1月21日 投資信託契約締結、設定、運用開始

## (3)【ファンドの仕組み】

ファンド・オブ・ファンズの仕組み ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ形式で運用します。 ファンド・オブ・ファンズ形式とは、他の投資信託証券に投資することにより運用を行う形式です。



#### ファンドの関係法人とその役割



関係法人	役割
委託会社	投資信託契約に基づき、投資信託財産の運用指図、投資信託財産の計算(基準価額の計算)、収益分配金、償還金及び解約金の支払い、投資信託説明書 (交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)および運用報告書の作成・交付等を行います。

受託会社	投資信託契約に基づき、投資信託財産の保管・管理・計算、委託会社の指図
	に基づく投資信託財産の処分等を行います。
再信託受託会社	受託会社との再信託契約に基づき、所定の事務を行います。
投資対象とする投資	投資対象とする投資信託の運用指図等を行います。
信託の運用会社	
販売会社	委託会社との間に締結した「投資信託受益権の取扱い等に関する契約」に基
	づき、受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託
	説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、
	買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行い
	ます。

## 委託会社の概況(2025年9月11日現在)

## 資本金

1億円

## 委託会社の沿革

1964年10月 6日 「日本投信委託株式会社」設立

2008年 4月 1日 岡三投資顧問株式会社と合併し、商号を「岡三アセットマネジ

メント株式会社」に変更

2023年 7月 1日 商号を「SBI岡三アセットマネジメント株式会社」に変更

#### 大株主の状況

名 称	住 所	持株数	持株比率
SBIグローバルアセットマネジメント	東京都港区六本木一丁目6番1号	577,400株	51.0%
株式会社			
株式会社岡三証券グループ	東京都中央区日本橋一丁目17番6号	554,701株	49.0%

## 2【投資方針】

## (1)【投資方針】

## 基本方針

ファンドは、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

## 運用方法

## a 投資対象

アジア・ニュージーランド債券マザーファンドの受益証券、三重県関連債券マザーファンドの受益証券および国内の証券投資信託であるフランクリン・テンプルトン・オーストラリア債券ファンド(適格機関投資家専用)の受益権(以下、「投資信託証券」といいます。)を主要投資対象とします。

## b 投資態度

イ.主として、以下の投資信託証券への投資を通じて、実質的にアジア・オセアニア地域および国内の債券に投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の成長をめざして運用を行います。

- アジア・ニュージーランド債券マザーファンド
- 三重県関連債券マザーファンド
- ・ フランクリン・テンプルトン・オーストラリア債券ファンド(適格機関投資家専用)
- 口.各投資信託証券の組入比率は、投資対象ファンドの収益性、投資対象国の債券市場の利回 リ水準と流動性、金利および為替動向等を勘案して決定します。なお組入比率の合計は高 位を保つことを基本とします。
- ハ.実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- 二、資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

## (2)【投資対象】

#### 投資の対象とする資産の種類

ファンドにおいて投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

- a 次に掲げる特定資産(「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。)
  - イ.有価証券
  - 口.金銭債権
  - 八.約束手形
- b 次に掲げる特定資産以外の資産
  - イ. 為替手形

#### 運用の指図範囲

#### a 有価証券

委託会社は、信託金を、主としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社を委託会社とし 三井住友信託銀行株式会社を受託会社として締結された親投資信託であるアジア・ニュージー ランド債券マザーファンドの受益証券、三重県関連債券マザーファンドの受益証券および国内 の証券投資信託であるフランクリン・テンプルトン・オーストラリア債券ファンド(適格機関 投資家専用)の受益権(金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいい、以下「投資信 託証券」といいます。)のほか、次の有価証券(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価 証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除くものとし、本邦通貨表示のものに限ります。) に投資することを指図します。

- イ.コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等
- 口、外国または外国の者の発行する証券または証書でイ、の証券の性質を有するもの
- 八.国債証券、地方債証券、特別の法律により法人の発行する債券および社債券(新株引受権 証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券および短期社債等を 除きます。)
- 二.外国法人が発行する譲渡性預金証書
- ホ.指定金銭信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の 受益証券に限ります。)

## b 金融商品

委託会社は、信託金を、上記の有価証券のほか、以下の金融商品(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。)により運用することを指図することができます。

#### イ 陌全

- 口.指定金銭信託(金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。)
- ハ.コール・ローン
- 二. 手形割引市場において売買される手形

#### c 特別な場合の運用指図

ファンドの設定、一部解約、償還および投資環境の変動等への対応等で、委託会社が運用上必要と認めるときには、委託会社は、信託金を、上記の金融商品により運用することの指図ができます。

投資対象とする投資信託証券の詳細につきましては、後述の(参考)投資対象とする投資 信託証券の概要をご参照下さい。

## (参考)投資対象とする投資信託証券の概要

アジア・ニュージーランド債券マザーファンド

委託会社	SBI岡三アセットマネジメント株式会社
基本方針	安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
投資対象	アジア諸国・ニュージーランドの現地通貨建ソブリン債等を主要投資対象と
	します。
投資態度	アジア諸国・ニュージーランドの現地通貨建ソブリン債、およびそれと
	概ね同等の投資効果が期待できる債券等を主要投資対象とし、安定した
	収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
	投資にあたっては、各国の金利水準を重視し、為替市場や債券市場の見
	通し、市場流動性等を総合的に勘案して国別投資比率、デュレーション
	を決定します。
	外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
	資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があ
	ります。

	有価証券届出書(内国投資信託
投資制限	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権付社債のうち会社法
	第236条第1項第3 号の財産が当該新株予約権付社債についての社債で
	あって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことを
	あらかじめ明確にしているもの(以下、会社法施行前の旧商法第341条ノ
	3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社
	債型新株予約権付社債」といいます。)の新株予約権の行使により取得
	したものに限り、投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下と
	します。
	同一銘柄の株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下と
	します。
	同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合
	は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。
	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	デリバティブ取引は、価格変動、金利変動および為替変動により生じる
	リスクを減じる目的ならびに投資の対象とする資産を保有した場合と同
	様の損益を実現する目的以外には利用しません。
	外国為替予約取引は、為替変動により生じるリスクを減じる目的以外に
	は利用しません。
	一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクス
	ポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポー
	ジャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それ
	ぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることと
	なった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内と
	なるよう調整を行うこととします。
決算	毎年11月20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。
	投資信託財産から生ずる利益は、信託終了時まで投資信託財産中に留保し、
	期中には分配を行いません。
信託報酬	ありません。
その他	・デリバティブ取引等に係る投資制限
	デリバティブ取引等については、一般社団法人投資信託協会規則の定めるとこ
	ろに従い、合理的な方法により算出した額が投資信託財産の純資産総額を超え
	ないものとします。

## 三重県関連債券マザーファンド

<b>조</b> 하스크	CDI図ニフセルレフランジョンルサギムサ
委託会社	SBI岡三アセットマネジメント株式会社
基本方針	安定した収益の確保と投資信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いま
	す。
投資対象	内外の公社債を主要投資対象とします。
投資態度	内外の公社債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と投資信託財産
	の成長を図ることを目標に運用を行います。
	内外の公社債のうち、三重県に関わりが深い企業等の発行する社債、お
	よび三重県の自治体の発行する公債に投資します。ただし、当該銘柄に
	かかる流動性、発行総額等の状況によっては国債に投資を行います。
	社債への投資にあたっては、取得時において信用格付業者等からA格以上
	の格付が付与されている債券に投資することを基本とします。
	海外資産への投資については、その取引において円貨で約定し円貨で決
	済するもの(為替リスクの生じないもの)に限るものとします。
	資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があ
	ります。

投資制限	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権付社債のうち会社法
	第236条第1項第3 号の財産が当該新株予約権付社債についての社債で
	あって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことを
	あらかじめ明確にしているもの(以下、会社法施行前の旧商法第341条丿
	3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社
	債型新株予約権付社債」といいます。)の新株予約権の行使により取得
	したものに限り、投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下と
	します。
	同一銘柄の株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下と
	します。
	外貨建資産への投資は行いません。
	デリバティブ取引は、価格変動および金利変動により生じるリスクを減
	じる目的ならびに投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を
	実現する目的以外には利用しません。
	一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクス
	ポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポー
	ジャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それ
	ぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることと
	なった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内と
	なるよう調整を行うこととします。
決算	毎年1月20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。
	投資信託財産から生ずる利益は、信託終了時まで投資信託財産中に留保し、
	期中には分配を行いません。
信託報酬	ありません。
その他	・デリバティブ取引等に係る投資制限
	デリバティブ取引等については、一般社団法人投資信託協会規則の定めるとこ
	ろに従い、合理的な方法により算出した額が投資信託財産の純資産総額を超え
	ないものとします。

## フランクリン・テンプルトン・オーストラリア債券ファンド(適格機関投資家専用)

(以下、「FT・オーストラリア債券ファンド(適格機関投資家専用)」という場合があります。)

運用会社	フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社
投資顧問会社	ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーワイ・リ
	ミテッド
基本方針	主として豪ドル建の公社債に投資を行い、信託財産の成長と毎月の安定し
	た分配を目指します。
投資対象	豪ドル建の公社債を主要投資対象とします。

#### 投資態度

豪ドル建の国債、州政府債、国際機関債、社債、モーゲージ証券及び 資産担保証券等を主要投資対象として運用を行います。投資を行う公 社債は、原則としてBBB-/Baa3格以上の格付けを付与されたものとしま す。

ブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(為替 ヘッジなし、円換算ベース(当該投資信託証券の運用会社が円 ベースに換算したものです。))\*を参考指標として運用を行います。

デュレーション・コントロール、セクター配分、銘柄選定の3つの戦略 により超過収益の獲得を目指します。

シナリオ・ディペンデント・オプティマイゼーション (SDO) を活用したデュレーション・コントロールを行います。ポートフォリオの平均 デュレーションは、原則として参考指標のデュレーション±1年とします。

外貨建資産については、原則として為替へッジは行いません。したがって、基準価額は、円と豪ドルとの為替変動の影響を受けます。 デリバティブ取引は、ヘッジ目的に限定して行うものとします。 資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーワイ・リミテッドに、運用の指図に関する権限を委託します。

#### 投資制限

株式(新株引受権証券及び新株予約権証券を含みます。)への投資割 合は、信託財産の純資産総額の20%以内とします。同一銘柄の株式へ の投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内としま す。

新株引受権証券及び新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資 産総額の20%以内とします。同一銘柄の新株引受権証券及び新株予約 権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。

同一銘柄の転換社債及び転換社債型新株予約権付社債への投資割合 は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。

投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内としま す。

外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

国債、州政府債、またはこれらと同等の信用を有する証券を除き、原 則として一発行体の発行する証券の保有は、信託財産の純資産総額の 10%以内とします。ただし、当初設定時、純資産総額の過少な時期並 びに大量解約の場合等は除くものとします。

デリバティブ取引(法人税法第61条の5に定めるものをいいます。) は、価格変動リスク、金利変動リスク及び為替変動リスクを回避する 目的並びに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的 以外には利用しません。

外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用し ません。

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクス ポージャー、債券等エクスポージャー及びデリバティブ等エクスポー ジャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞ れ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることと なった場合には、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率 以内となるよう調整を行うこととします。

## 決算日、 分配方針

毎月11日(休業日の場合は翌営業日。)に決算を行い、原則として以下の 方針に基づき分配を行います。

分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収益及 び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。

収益分配金額は、原則として繰越分を含めた受取利子・配当収益を中 心に、基準価額水準等を勘案して当該投資信託証券の運用会社が決定 します。ただし、信託約款に定める範囲内で、売買益をも源泉として 分配を行うことがあります。また、分配対象収益が少額の場合は、分 配を行わない場合があります。

留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づ き、元本部分と同一の運用を行います。

## 信託報酬

純資産総額に対して年率0.506%(税抜0.46%)

投資顧問会社への報酬が含まれています。

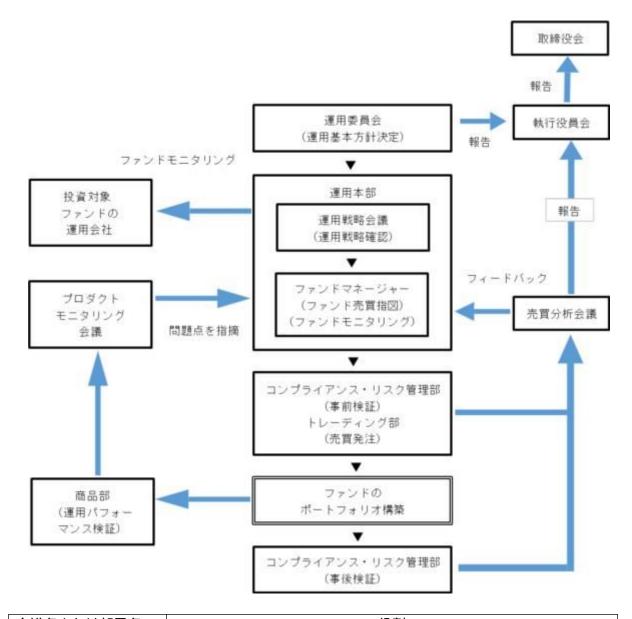
その他の費用 申込手数料はありません。

有価証券の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、 外貨建資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税、受託会社の立 替えた立替金の利息、信託事務等に要する諸費用(監査費用、印刷等費 用、受益権の管理事務費用等を含みます。)を、信託財産中から支弁しま す。

\*「Bloomberg®」およびブルームバーグオーストラリア債券 (総合) インデックスは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者である Bloomberg Index Services Limited をはじめとする関連会社 (以下、総称して「ブルームバーグ」) のサービスマークであり、フランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはフランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社とは提携しておらず、また、フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社が運用するファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、フランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社が運用するファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

#### (3)【運用体制】

運用体制、内部管理および意思決定を監督する組織 ファンドの運用体制、内部管理および意思決定を監督する組織は、以下のようになります。



運用委員会	運用本部が策定した投資環境分析と運用の基本方針案に基づいて検討
(月1回開催)	を行い、運用の基本方針を決定します。また、運用に関する内規の制
	定及び改廃等を決定します。委員長は審議・検討結果を執行役員会へ
	報告します。
	また、執行役員会の構成員である業務執行取締役は、審議・検討結果
	を取締役会へ報告します。
運用戦略会議	投資対象ファンドの運用戦略の確認を行います。
(月1回開催)	
各運用部	ファンドマネージャーは、運用計画を策定し、運用計画に基づいて、
	投資対象ファンドの売買指図を行います。また、投資先ファンドの運
	用状況についてモニタリングを行います。
プロダクトモニタリン	運用のパフォーマンス向上等に資することを目的に、ファンドの運用
グ会議	パフォーマンスを分析・検証・評価し、各運用部に問題点を指摘して
(月1回開催)	改善を促します。
売買分析会議	運用指図及び売買発注の事前検証及び事後検証に関する報告、法令諸
(月1回開催)	規則及び約款等の遵守状況の検証に関する報告、及び運用リスク管理
(	状況の検証に関する報告を行います。議長は会議の結果を執行役員会
	へ報告します。
	また、執行役員会の構成員である業務執行取締役は、会議の結果を取り
	締役会へ報告します。
業務審査委員会	運用指図や売買発注等において、事務処理ミスや法令諸規則違反等の
(原則月1回開催)	適切な事案や事故が発生した場合に、その対応策や業務改善策等につ
	いて審議し決定します。委員長はその結果を執行役員会へ報告しま
	す。
	また、執行役員会の構成員である業務執行取締役は、審議事項等を取
	締役会へ報告します。
トレーディング部	売買発注を行うとともに、最良執行の観点から検証・分析を行いま
(6名程度)	す。
コンプライアンス・リ	運用指図の事前検証および事後検証、法令諸規則及び約款等の遵守状
スク管理部	況の確認等を行います。
(4~6名程度)	
商品部	ファンドの運用パフォーマンスを分析・検証・評価し、各運用部に
(8~10名程度)	フィードバックを行います。
	また、投資対象ファンドとしての適切性の確認を定期的および必要に
	応じて行います。

## 社内規程

委託会社は、ファンドの運用に関する社内規程等において、運用を行うに当たって遵守すべき 事項等を定め、ファンドの商品性に則った適切な運用を行っています。

また、委託会社では、「リスク管理規程」において運用に関するリスク(法令諸規則、運用財産の約款又は規約及び基本方針を逸脱した運用の実施、投資対象企業及び取引先の信用力低下、運用財産の資金の流動性低下等)を管理すべきリスクとして定め、運用本部及び運用本部から独立した部署がモニタリングや検証を通じて管理を行っています。

## ファンドの関係法人 (販売会社を除く)に対する管理体制等

「受託会社」または「再信託受託会社」に対しては、日々の基準価額および純資産照合、月次の勘定残高照合などを行っております。

委託会社は、投資対象ファンドについて、ファンド運営の適切性や運用の継続性等を確認した うえで投資を行うとともに、投資対象ファンドの運用状況や投資対象ファンドの運用会社の業務 運営態勢等に関し継続的にモニタリングを行うとともに、その分析・検証・評価を定期的および 必要に応じて行います。 運用体制等につきましては、2025年7月末日現在のものであり、変更になることがあります。

#### (4)【分配方針】

毎年1月20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。

#### a 分配対象収益の範囲

繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。

繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属 すべき配当等収益を含むものとします。

## b 分配対象収益についての分配方針

分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。

## c 留保益の運用方針

収益分配に充てなかった留保益については、運用の基本方針と同一の運用を行います。

分配金再投資コースの場合、収益分配金は、税金を差し引いた後、決算日の基準価額で再投資します。

#### (5)【投資制限】

## <約款に基づく投資制限>

投資信託証券への投資割合には制限を設けません。

株式への直接投資は行いません。

外貨建資産への直接投資は行いません。

デリバティブの直接利用は行いません。なお、投資対象とする投資信託証券を通じたデリバティブ取引および外国為替予約取引は、投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的ならびに価格変動リスク、金利変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

## 公社債の運用指図

国債証券、地方債証券、特別の法律により法人の発行する債券および社債券(新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券および短期社債等を除きます。)にかかる運用の指図は、買い現先取引(売戻条件付買入れ)に限り行うことができるものとします。

#### 資金の借入れ

- a 委託会社は、投資信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性をはかるため、一部解約に伴う支払資金の手当て(一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。)を目的として、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入(コール市場を通じる場合を含みます。)の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
- b 一部解約に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から投資信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または受益者への解約代金支払開始日から投資信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間もしくは受益者への解約代金支払開始日から投資信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、有価証券等の解約代金および有価証券等の償還金の合計額を限度とします。
- c 収益分配金の再投資にかかる借入期間は、投資信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は、収益分配金の再投資額を限度とします。
- d 借入金の利息は、投資信託財産中より支弁します。

## 3【投資リスク】

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、 投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに 帰属します。

ファンドは、アジア・オセアニア地域および国内の債券等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。

#### <投資リスク>

## 金利変動リスク

金利は、経済環境や物価動向、金融政策、経済政策等を反映して変動します。一般に、金利が 上昇した場合には債券の価格は下落し、金利が低下した場合には債券の価格は上昇します。

投資した債券の価格の上昇は、ファンドの基準価額の上昇要因となり、投資した債券の価格の 下落は、ファンドの基準価額の下落要因となります。

投資した債券の価格の下落の影響で、ファンドの基準価額が下落し、損失を被る可能性があります。

#### 為替変動リスク

外貨建資産は、為替相場の変動により円換算額が変動します。投資対象通貨に対して円高は、 外貨建資産の円換算額の減少により、ファンドの基準価額の下落要因となり、投資対象通貨に対 して円安は、外貨建資産の円換算額の増加により、ファンドの基準価額の上昇要因となります。 投資対象通貨に対する円高の影響で、ファンドの基準価額が下落し、損失を被る可能性がありま す。

#### 信用リスク

有価証券等の発行体の破綻や財務状況の悪化、および有価証券等の発行体の財務状況に関する外部評価の変化等の影響により、投資した有価証券等の価格が大きく下落することや、投資資金が回収不能となる場合があります。このような場合には、ファンドの基準価額が下落し、損失を被る可能性があります。

債券や短期金融商品を投資対象としますので、元利支払いの不履行もしくは遅延の影響で、ファンドの基準価額が下落し、損失を被る可能性があります。

#### カントリーリスク

投資対象国・地域等における外貨不足等の経済的要因、政府の資産凍結等の政治的理由、社会情勢の混乱等の影響で、ファンドの基準価額が下落し、損失を被る可能性があります。

特に、新興国は、主要先進国と比較して、経済・政治・社会情勢等で脆弱または不安定な側面があることから、新興国のカントリーリスクは主要先進国に比べ高くなる傾向にあります。

#### 流動性リスク

有価証券等の時価総額が小さく、または取引量が少ないとき、市況が急変したとき、取引所等における取引が中止されたときまたは取引所等が閉鎖されたときには、有価証券等の売買価格が通常よりも著しく不利な価格となることや有価証券等の売却ができなくなる場合があります。

このような場合には、ファンドの基準価額が下落し、損失を被る可能性があります。

## 組入債券の期限前償還のリスク

組入れた債券が期限前に償還された場合、償還された元本を別の債券等に再投資することになりますが、金利が低下している局面等では、再投資した債券の利回りが償還された債券の利回りより低くなる可能性があります。

基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

#### < 留意事項 >

- ・ ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の 適用はありません。
- ・ 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ・ ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払 われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を 超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収 益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全 部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況に より、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

## <投資リスクに対する管理体制>(2025年7月末日現在)

- ・ 運用委員会において運用に関する内規の制定及び改廃、個別ファンドに係る運用リスク管理に 関する事項を決定します。
- ・ コンプライアンス・リスク管理部は、投資信託財産の運用の指図につき法令、投資信託協会諸規則、社内規程及び投資信託約款等(以下、「法令諸規則等」という。)に定める運用の指図に関する事項の遵守状況を確認します。

発注前の検証については、運用実施に関する内規に基づき、発注内容が法令諸規則等に照ら して適当であるか否かについて伝票又はオーダー・マネジメント・システムのコンプライア ンスチェック機能を利用して確認を行います。

発注後の検証については、運用指図結果の適法性又は適正性について確認を行います。

- ・ 流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行います。執行役員会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について監督します。
- ・ プロダクトモニタリング会議におけるファンドの運用パフォーマンスの分析・検証・評価や、 売買分析会議におけるファンドの組入有価証券の格付状況、有価証券売買状況や組入状況の 報告等により、全社的に投資リスクを把握し管理を行います。



## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数(TOPIX) (配当込み)	東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資 対象としての機能性を有するマーケット・ペンチマークで、配当を考慮したものです。なお、 TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会 社JPX総研の関連会社に帰属します。
先進国株	MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ペース)	MSCI-KOKUSAIインデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・ マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ペース)は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
日本国債	NOMURA-BPI国債	NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が 発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。 なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野 村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ペース)	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガン・ガパメント・ ポンド・インデックス- エマージング・ マーケッツ・グローバル・ ディパーシファイド (円ペース)	JPモルガン・ガパメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ・グローバル・ディ パーシファイド(円ペース)は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興 国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガパメント・ボ ンド・インデックス・エマージング・マーケッツ・グローバル・ディパーシファイドに関する著 作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

議落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、競新性、 網離性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該職落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用 に起因する損害及び一切の制題について、何らの責任も負いません。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 4【手数料等及び税金】

## (1)【申込手数料】

申込金額(取得申込受付日の翌営業日の基準価額に申込口数を乗じて得た額)に、販売会社が 独自に定める手数料率を乗じて得た額

手数料率の上限は、3.3%(税抜3.0%)です。手数料率は変更となる場合があります。詳細につきましては、販売会社にご確認下さい。

申込手数料は、ファンドの商品説明および販売事務手続き等の対価として販売会社に支払われます。

「分配金再投資コース」の取得申込者が、収益分配金の再投資によりファンドを買付ける場合には、無手数料とします。詳細につきましては、販売会社又は委託会社にお問い合わせ下さい。

照会先	SBI岡三アセットマネジメント株式会社
	電話番号 03-3516-1300
	受付時間 営業日の午前9時~午後5時
	ホームページ https://www.sbiokasan-am.co.jp

追加型証券投資信託「三重県応援・債券ファンド(毎月決算型)」の受益者が、当該ファンドからのスイッチング(乗換え)により、同一の販売会社でファンドを買付ける場合には、申込手数料の一部又は全部の割引を受けられる場合があります。詳細につきましては、販売会社にお問い合わせ下さい。

#### (2)【換金(解約)手数料】

ありません。

ただし、ご換金時には、1口当たり、解約請求受付日の翌営業日の基準価額の0.10%が信託財産 留保額として控除されます。

## (3)【信託報酬等】

## 信託報酬の総額及びその配分

信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に年率1.199%(税抜1.09%)を乗じて得た額とします。信託報酬は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。

信託報酬は、「委託会社」、「販売会社」及び「受託会社」の間で次のように配分します。

委託会社	年率0.55% (税抜0.50%)	委託した資金の運用の対価です。
販売会社	年率0.605%(税抜0.55%)	運用報告書等各種書類の送付、口座 内でのファンドの管理、購入後の情 報提供等の対価です。
受託会社	年率0.044%(税抜0.04%)	運用財産の管理、委託会社からの指 図の実行の対価です。

## < 実質的な信託報酬の総額 >

「フランクリン・テンプルトン・オーストラリア債券ファンド(適格機関投資家専用)」の 信託報酬は、計算期間を通じて毎日、当該ファンドの投資信託財産の純資産総額に年率0.506% (税抜0.46%)を乗じて得た額です。

「アジア・ニュージーランド債券マザーファンド」および「三重県関連債券マザーファンド」には、信託報酬はありません。

ファンドは、「フランクリン・テンプルトン・オーストラリア債券ファンド(適格機関投資家専用)」を組入れて運用を行いますので、ファンドの信託報酬に組入れた投資信託証券の信託報酬を含めた実質的な信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、投資信託財産の純資産総額に年率1.705%(税抜1.55%)(上限)を乗じて得た額となります。

ただし、実質的な信託報酬は目安であり、組入れた投資信託証券の実際の組入比率により変動します。

## 三重県の明日につながる次世代育成、社会福祉向上、環境保護等のための寄附

三重県の明日につながる次世代育成、社会福祉向上、環境保護等に関連した取組みおよび施設等に信託報酬から寄附を行います。寄附の金額は、計算期間を通じて毎日、投資信託財産の純資産総額に年率0.15%を乗じて得た額とします。当該寄附は、委託会社が受取る信託報酬から行います。

なお、委託会社、販売会社、受託会社に係る上記の信託報酬は、寄附を行うことを考慮して決 定しております。

寄附の方法等につきましては、委託会社が、三重県庁との協議により決定します。寄附の具体的な内容等につきましては、運用報告書等を通じて、受益者にご報告します。

#### 信託報酬の支払い時期

毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支弁します。

#### (4)【その他の手数料等】

ファンドの組入有価証券の売買委託手数料は、受益者の負担とし、投資信託財産中から支弁します。また、投資対象とする投資信託証券の組入有価証券の売買委託手数料、先物・オプション取引等の売買委託手数料を間接的にご負担いただきます。なお、投資対象とする投資信託証券の取得申込み時および解約申込み時の手数料はありません。

ファンドの財務諸表の監査費用は、計算期間を通じて毎日、投資信託財産の純資産総額に年率0.0132%(税抜0.012%)を乗じて得た額とし、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支弁します。

ファンドの解約に伴う支払資金の手当て又は再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的とした借入金の利息は、受益者の負担とし、投資信託財産中から支弁します。

ファンドの投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた 立替金の利息は、受益者の負担とし、投資信託財産中から支弁します。なお、投資対象とする 投資信託証券の投資信託財産に関する租税、投資信託財産に関する受託事務の処理に要する費 用、海外における資産の保管等に要する費用等につきましては、間接的に受益者の負担となり ます。

その他の手数料等につきましては、財務諸表の監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。

#### (5)【課税上の取扱い】

ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

## 個人受益者に対する課税

## 収益分配金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金は、配当所得として、以下の税率による源泉 徴収が行われます。確定申告は不要ですが、確定申告による総合課税または申告分離課税のい ずれかを選択することもできます。

#### 償還金および解約金に対する課税

償還価額および解約価額から取得費(申込手数料および申込手数料に係る消費税等相当額を含みます。)を控除した利益は、譲渡所得となり、以下の税率による申告分離課税が適用されます。ただし、特定口座(源泉徴収選択口座)をご利用の場合には、原則として確定申告は不要です。

償還時および解約時の差損(譲渡損失)については、確定申告等により、上場株式等の譲渡 益と相殺することができ、申告分離課税を選択した上場株式等の配当所得との損益通算も可 能です。

償還時および解約時の差益(譲渡益)については、他の上場株式等の譲渡損と相殺することができ、損益通算が可能となります。

また、特定公社債等(公募公社債投資信託を含みます。)の利子所得および譲渡所得等との

## 損益通算も可能です。

## 2037年12月31日までは、復興特別所得税(所得税額×2.1%相当額)がかかります。

期間	税率
2014年1月1日以降 2037年12月31日まで	20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税
	5%)
2038年1月1日以降	20% (所得税15%、地方税5%)

## 法人受益者に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに償還時及び解約時の個別元本超過額については、以下の税率による源泉徴収が行われます。なお、地方税の源泉徴収はありません。

#### 2037年12月31日までは、復興特別所得税(所得税額×2.1%相当額)がかかります。

期間	税率		
2014年1月1日以降 2037年12月31日まで	15.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%)		
2038年1月1日以降	15% (所得税15%)		

## 普通分配金、元本払戻金(特別分配金)とは

収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」があります。

基準価額(分配落)が受益者の個別元本と同額の場合または上回っている場合には、分配 金の全額が普通分配金となります。

基準価額(分配落)が受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、分配金から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が普通分配金となります。元本払戻金(特別分配金)は、元本の一部払戻しに相当し、非課税扱いとなります。

## 個別元本とは

個別元本とは、原則として、受益者毎の信託時の受益権の価額(申込手数料および申込手数料に係る消費税等相当額は含まれません。)をいい、追加信託のつど当該口数により加重平均されます。

ただし、複数の販売会社でファンドを買付けた場合は、販売会社ごとに個別元本の算出が行われます。

また、同一販売会社であっても、複数口座でファンドを買付けた場合には口座ごとに、「分配金受取りコース」と「分配金再投資コース」を併用する場合にはコースごとに、個別元本の算出が行われることがあります。

受益者が、元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、個別元本は、分配金発生時の個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額となります。

## 少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」について

公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の 適用対象となります。

ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

NISAは、少額上場株式等に関する非課税制度であり、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。

ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした商品を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。

詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

#### その他

- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。
- ・ 買取請求による換金の場合の課税上の取扱い及び損益通算等につきましては、取得申込みを 取り扱った販売会社にお問い合わせ下さい。
- 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

上記の内容は2025年7月末日現在の情報に基づくものであり、税法が改正された場合には変更になることがあります。課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## (参考情報)ファンドの総経費率

直近の運用報告書対象期間(2024年1月23日~2025年1月20日)の総経費率(年率)

ファンド名	総経費率(①+②)	運用管理費用の比率①	その他費用の比率②
1年決算型	1.62%	1.19%	0.43%

<sup>※</sup>対象期間中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、購入時手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除きます。)を対象期間中の平均受益権□数に対象期間中の平均基準価額(1□当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)です。

- ※その他費用の比率は、投資先ファンドおよびマザーファンドが支払った費用を含みます。
- ※ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- ※上記の前提条件で算出されたもので、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。
- ※詳細につきましては直近の運用報告書(全体版)をご覧ください。

## 5【運用状況】

2025年 7月31日現在の運用状況は、以下の通りです。

投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。また、小数点以下第3位 を四捨五入しており、合計と合わない場合があります。

#### (1)【投資状況】

## 三重県応援・債券ファンド(1年決算型)

資産の種類	国 / 地域	時価合計 (円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	日本	345,472,149	76.34
親投資信託受益証券	日本	98,047,806	21.67
コール・ローン等、その他の資産(負債控除後)		9,033,560	2.00
合計 (純資産総額)		452,553,515	100.00

## (参考)アジア・ニュージーランド債券マザーファンド

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)	
国債証券	ニュージーランド	1,199,172,606	29.62	
	マレーシア	1,282,736,490	31.68	
	タイ	316,951,372	7.83	
	インドネシア	1,021,163,384	25.22	
	小計	3,820,023,852	94.36	
コール・ローン等、その他の資産(負債控除後)		228,398,562	5.64	
合計(純資産総額)	•	4,048,422,414	100.00	

## (参考)三重県関連債券マザーファンド

資産の種類	国 / 地域	時価合計(円)	投資比率(%)
地方債証券	日本	189,196,000	98.46
コール・ローン等、その他の資産(負債控除後)		2,964,300	1.54
合計 ( 純資産総額 )		192,160,300	100.00

## (2)【投資資産】

## 【投資有価証券の主要銘柄】

## 三重県応援・債券ファンド(1年決算型)

順位	国 / 地域	種類	銘柄名	数量	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1		投資信託受 益証券	F T・オーストラリア債券ファンド(適格機関投資家専用)	778,441,077	0.4345	338,246,659	0.4438	345,472,149	76.34
2			アジア・ニュージーランド債券マ ザーファンド	30,968,556	2.1415	66,319,163	2.2384	69,320,015	15.32
3		親投資信託 受益証券	三重県関連債券マザーファンド	27,551,349	1.0589	29,174,124	1.0427	28,727,791	6.35

## (種類別投資比率)

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	76.34
親投資信託受益証券	21.67
슴計	98.00

## (参考)アジア・ニュージーランド債券マザーファンド

順位	国 / 地域	種類	銘柄名	数量	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	利率 (%)	償還期限	投資 比率 (%)
1	ニュー ジーラン ド	国債証券	NEW ZEALAND GVT 4.5	6,000,000	8,903.53	534,212,076	9,071.42	544,285,759	4.5	2030年 5 月15日	
2	ニュー ジーラン ド	国債証券	NEW ZEALAND GVT 4.5	5,500,000	8,671.62	476,939,166	8,795.33	483,743,576	4.5	2035年 5 月15日	
3	インドネ シア		INDONESIA GOV'T 7.5	38,000,000,000	0.95	363,356,760	0.98	372,505,792	7.5	2035年 6 月15日	
4	マレーシ ア		MALAYSIA GOVT 4.504	10,000,000	3,634.48	363,448,406	3,675.20	367,520,342	4.504	2029年 4 月30日	9.08
5	マレーシ ア	国債証券	MALAYSIA GOVT 3.582	10,000,000	3,445.10	344,510,391	3,561.61	356,161,044	3.582	2032年 7 月15日	8.80

									X(E)	
6	マレーシ ア	 MALAYSIA GOVT 2.632	10,000,000	3,277.20	327,720,674	3,387.32	338,732,454	2.632	2031年 4 月15日	8.37
7	インドネ シア	 INDONESIA GOV'T 7	30,000,000,000	0.92	278,249,400	0.95	286,013,280	7	2030年 9 月15日	7.06
8	マレーシ ア	 MALAYSIA GOVT 4.054	6,000,000	3,538.68	212,321,295	3,672.04	220,322,650	4.054	2039年 4 月18日	5.44
9	タイ	 THAILAND GOVT 3.35	30,000,000	488.78	146,635,920	519.58	155,876,760	3.35	2033年 6 月17日	
10	インドネ シア	INDONESIA GOV'T 6.75	16,000,000,000	0.93	149,256,384	0.93	149,307,904	6.75	2035年 7 月15日	3.69
	インドネ シア	 INDONESIA GOV'T 10	12,000,000,000	1.01	121,488,576	1.00	120,818,448	10	2028年 2 月15日	
12	インドネ シア	 INDONESIA GOV'T 11	10,000,000,000	0.95	95,136,280	0.92	92,517,960	11	2025年 9 月15日	2.29
13	タイ	 THAILAND GOVT 2.125	20,000,000	456.31	91,262,016	460.90	92,180,400	2.125	2026年12 月17日	
14	ニュー ジーラン ド	 NEW ZEALAND GVT 3	1,000,000	8,402.67	84,026,722	8,622.50	86,225,049	3	2029年 4 月20日	2.13
15	ニュー ジーラン ド	 NEW ZEALAND GVT 5	1,000,000	8,272.45	82,724,526	8,491.82	84,918,222	5	2054年 5 月15日	
16	タイ	 THAILAND GOVT 2.41	14,000,000	467.80	65,492,992	492.10	68,894,212	2.41	2035年 3 月17日	

## (種類別投資比率)

種類	投資比率(%)
国債証券	94.36
合計	94.36

## (参考)三重県関連債券マザーファンド

順位	国 / 地域	種類	銘柄名	数量	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	利率 (%)	償還期限	投資 比率 (%)
1	日本		令和 5 年度第 1 回三重県公募公 債 (グリーンボ ンド)		97.59	97,597,000	95.08	95,084,000	0.87	2033年 9 月20日	
2	日本		令和2年度第1 回三重県公募公 債	100,000,000	95.13	95,130,000	94.11	94,112,000	0.125	2030年12 月25日	

## (種類別投資比率)

種類	投資比率(%)
地方債証券	98.46
合計	98.46

## 【投資不動産物件】

三重県応援・債券ファンド(1年決算型) 該当事項はありません。

(参考)アジア・ニュージーランド債券マザーファンド 該当事項はありません。

(参考)三重県関連債券マザーファンド 該当事項はありません。

## 【その他投資資産の主要なもの】

三重県応援・債券ファンド(1年決算型) 該当事項はありません。

(参考)アジア・ニュージーランド債券マザーファンド 該当事項はありません。

(参考)三重県関連債券マザーファンド 該当事項はありません。

## (3)【運用実績】

## 【純資産の推移】

## 三重県応援・債券ファンド(1年決算型)

		純資産総	8額(円)	基準価額 (1口当	
		(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第2期計算期間末	(2016年 1月20日)	10,802,559	10,802,559	0.9592	0.9592
第3期計算期間末	(2017年 1月20日)	209,888,849	209,888,849	1.0415	1.0415
第4期計算期間末	(2018年 1月22日)	79,657,025	79,657,025	1.0856	1.0856
第5期計算期間末	(2019年 1月21日)	98,929,497	98,929,497	1.0074	1.0074
第6期計算期間末	(2020年 1月20日)	131,393,418	131,393,418	1.0429	1.0429
第7期計算期間末	(2021年 1月20日)	83,543,853	83,543,853	1.1039	1.1039
第8期計算期間末	(2022年 1月20日)	37,232,247	37,232,247	1.0878	1.0878
第9期計算期間末	(2023年 1月20日)	110,033,092	110,033,092	1.0980	1.0980
第10期計算期間末	(2024年 1月22日)	995,764,713	995,764,713	1.2079	1.2079
第11期計算期間末	(2025年 1月20日)	625,004,890	625,004,890	1.2341	1.2341
	2024年 7月末日	792,729,737		1.2503	
	8月末日	793,478,040		1.2602	
	9月末日	712,431,065		1.2706	
	10月末日	702,299,778		1.2714	
	11月末日	661,771,690		1.2466	
	12月末日	668,494,324		1.2592	
	2025年 1月末日	625,425,988		1.2340	
	2月末日	592,216,875		1.2051	
	3月末日	558,245,766		1.2148	
	4月末日	508,686,000		1.1949	
	5月末日	495,071,298		1.2179	
	6月末日	467,832,300		1.2497	
	7月末日	452,553,515		1.2700	

## 【分配の推移】

三重県応援・債券ファンド(1年決算型)

		11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11
	期間	分配金 (1口当たり)
第2期計算期間	2015年 1月21日~2016年 1月20日	0.0000円
第3期計算期間	2016年 1月21日~2017年 1月20日	0.0000円
第4期計算期間	2017年 1月21日~2018年 1月22日	0.0000円
第5期計算期間	2018年 1月23日~2019年 1月21日	0.0000円
第6期計算期間	2019年 1月22日~2020年 1月20日	0.0000円
第7期計算期間	2020年 1月21日~2021年 1月20日	0.0000円
第8期計算期間	2021年 1月21日~2022年 1月20日	0.0000円
第9期計算期間	2022年 1月21日~2023年 1月20日	0.0000円
第10期計算期間	2023年 1月21日~2024年 1月22日	0.0000円
第11期計算期間	2024年 1月23日~2025年 1月20日	0.0000円
第12期中間計算期間	2025年 1月21日~2025年 7月20日	H

## 【収益率の推移】

## 三重県応援・債券ファンド(1年決算型)

	期間	収益率(%)
第2期計算期間	2015年 1月21日~2016年 1月20日	14.1
第3期計算期間	2016年 1月21日~2017年 1月20日	8.6
第4期計算期間	2017年 1月21日~2018年 1月22日	4.2
第5期計算期間	2018年 1月23日~2019年 1月21日	7.2
第6期計算期間	2019年 1月22日~2020年 1月20日	3.5
第7期計算期間	2020年 1月21日~2021年 1月20日	5.8
第8期計算期間	2021年 1月21日~2022年 1月20日	1.5
第9期計算期間	2022年 1月21日~2023年 1月20日	0.9
第10期計算期間	2023年 1月21日~2024年 1月22日	10.0
第11期計算期間	2024年 1月23日~2025年 1月20日	2.2
第12期中間計算期間	2025年 1月21日~2025年 7月20日	3.0

(注)収益率は期間騰落率です。小数点以下第2位を四捨五入しております。

## (4)【設定及び解約の実績】

## 三重県応援・債券ファンド(1年決算型)

期間	設定数量(口)	解約数量(口)
第2期計算期間	11,611,404	10,550,141
第3期計算期間	190,268,642	0
第4期計算期間	72,696,832	200,850,499
第5期計算期間	29,304,227	4,479,466
第6期計算期間	61,133,171	33,343,264
第7期計算期間	2,660,953	52,969,709
第8期計算期間	0	41,457,198
第9期計算期間	65,986,057	0
第10期計算期間	738,412,567	14,229,465

EDINET提出書類

SBI岡三アセットマネジメント株式会社(E12441)

有価証券届出書(内国投資信託受益証券)

第11期計算期間	54,367,661	372,326,196
第12期中間計算期間	30,693,787	177,344,991

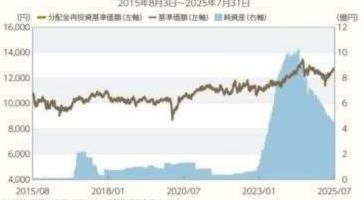
## 参考情報

2025年7月31日現在

## 三重県応援・債券ファンド(1年決算型)

## 基準価額・純資産の推移

2015年8月3日~2025年7月31日



## ●分配金の推移

100000000000000000000000000000000000000	807425
2025年 1月	0円
2024年 1月	0円
2023年 1月	0円
2022年 1月	0円
2021年 1月	0円
設定来累計	0円

※上記分配命は1万口当たり、税引削です。

## ●主な資産の状況

## 組入ファンド

ファンド名	純資産比率
フランフリン・テンプルトン・オーストラリア債券ファンド(適格機関投資家専用)	76.34%
アジア・ニュージーランド債券マザーファンド	15.32%
三重発関連債券マザーファンド	6.35%

## 組入上位銘柄 アジア・ニュージー

ランド債券マザー ファンド

銘柄名	質速日	利率	国/地域	純資産比率
NEW ZEALAND GVT 4.5	2030/05/15	4.500%	ニュージーランド	13,44%
NEW ZEALAND GVT 4.5	2035/05/15	4.500%	ニュージーランド	11,95%
INDONESIA GOV'T 7.5	2035/06/15	7.500%	インドネシア	9.20%
MALAYSIA GOVT 4.504	2029/04/30	4.504%	マレーシブ	9.08%
MALAYSIA GOVT 3,582	2032/07/15	3.582%	マレーシア	8.80%

申比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

## 組入上位銘柄 三重県関連債券 マザーファンド

銘柄名	領還日	利率	純資産比率
令和5年度第1回三重祭公募公債(グリーンボンド)	2033/09/20	0.870%	49.48%
令和2年度第1回三重景公募公債	2030/12/25	0.125%	48,98%
		-	
-		32	- 2
	220	93	- XS

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

## 組入上位銘柄 フランクリン・

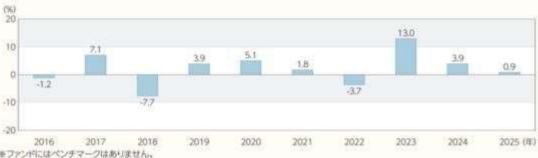
テンプルトン・ オーストラリア債券 ファンド(適格機関 投資家専用)

銘柄名	償還日	利率	国/地域	純資産比率
AUSTRALIAN GOVT	2035/06/21	2.750%	オーストラリア	3.07%
AUSTRALIAN GOVT	2037/04/21	3.750%	オーストラリア	2,15%
TREASURY CORP VICTORIA	2035/09/17	2.000%	オーストラジア	1.94%
AUSTRALIAN GOVT	2041/05/21	2.750%	オーストラリア	1.71%
NEW 5 WALES TREASURY	2031/03/20	2.000%	オーストラジア	1.60%

※比率はフランクリン・テンプルトン・オーストラリア債券ファンド(適格機関投資家専用)の純資産節期に対する比率です。 ※フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社のデータを基にSBI間三アセットマネジメントが作成しています。

⊕組入銘柄は、上位5銘柄もUくは全銘柄を記載しています。

## 毎日間収益率の推移(暦年ベース)



サファンドにはベンチマークはありません。

⇒2025年は年初から7月末までの収益率を示しています。

辛ファンドの年間収益率は、分配金再投資基準価額をもとに算出しています。

手統 于数料等

**WHITE** 

ファンドの 目的・特色

遇去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。 最新の運用実績は、委託会社のホームページ。または販売会社でご確認いただけます。

<sup>◆</sup>基準価額は1万□当たり、低託報酬控除後です。

単分配金再投資基準価額は、決算所の分配金を共課税で再投資したものとして計算しております。

<sup>※</sup>設定時から10年以上経過した場合は、直近10年分を記載しています。

#### 第2【管理及び運営】

## 1【申込(販売)手続等】

#### 取得申込受付日

取得申込みは、申込期間における販売会社の営業日(ただし、委託会社の休業日を除きます。)に行うことができます。

ただし、委託会社は、投資対象とする投資信託証券にかかる取得申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、取得申込みの受付を中止することや、すでに受付けた取得申込みの受付を取消すことができるものとします。

#### 取得申込不可日

以下に該当する日は、「申込不可日」として、取得申込みの受付を行いません。

- ・ オーストラリア証券取引所の休業日およびその前営業日
- シドニーまたはメルボルンの銀行の休業日およびその前営業日

「申込不可日」につきましては、販売会社又は委託会社にお問い合わせ下さい。また、委託会 社のホームページにも、掲載いたします。

## 取得申込受付時間

原則として、取得の申込みに係る、販売会社所定の事務手続きが午後3時30分までに完了したものを当日の申込受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、 詳細は販売会社にご確認ください。

#### 取得申込手続

- ・ 取得申込者は、販売会社に、取得申込と同時にまたはあらかじめ当該取得申込者が受益権の振替を行うための振替機関等の口座を申し出るものとし、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録が行われます。なお、販売会社は、当該取得申込の代金の支払いと引き換えに、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録を行うことができます。委託会社は、分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社債、株式等の振替に関する法律(以下「社振法」といいます。)に定める事項の振替機関への通知を行うものとします。振替機関等は、委託会社から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行います。受託会社は、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権に係る信託を設定した旨の通知を行います。
- ・ 取得申込方法には、「分配金受取りコース」と「分配金再投資コース」の2つのコースがあります。ファンドからお支払いする収益分配金のお受取りをご希望される取得申込者は「分配金受取りコース」を、収益分配金を自動的に再投資することをご希望される取得申込者は「分配金再投資コース」をお申込み下さい。
- ・「分配金再投資コース」を選択された取得申込者は、販売会社との間で、ファンドに係る累積 投資約款(別の名称で同様の権利義務関係を規定するものを含みます。)に基づく収益分配金 の再投資等に係る契約を結んでいただきます。また、分配金再投資コースで「定時定額購入 サービス」をご利用の取得申込者は、販売会社との間で定時定額購入サービスに関する取り決 めを行っていただきます。
- ・ 申込単位は、販売会社が定める単位とします。詳細につきましては、販売会社にご確認くださ

110

・ 申込価額は、取得申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

なお、「分配金再投資コース」の取得申込者が、ファンドに係る累積投資契約(別の名称で同様の権利義務関係を規定する契約を含みます。)に基づき、収益分配金の再投資によりファンドを買付ける場合には、決算日の基準価額とします。

- ・ 申込代金は、申込価額に申込口数を乗じて得た額に、申込手数料(消費税等相当額を含みます。)を加算した額です。
- ・ 申込代金は、販売会社が定める期日までに販売会社でお支払い下さい。詳細につきましては、 販売会社にお問い合わせ下さい。

照会先 SBI 岡三アセットマネジメント株式会社

電話番号 03-3516-1300

受付時間 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ https://www.sbiokasan-am.co.jp

## 2【換金(解約)手続等】

## 換金申込受付日

受益者は、販売会社の営業日(ただし、委託会社の休業日を除きます。)に、販売会社を通じて、換金の請求をすることができます。

## 換金申込不可日

以下に該当する日は、「申込不可日」として、換金申込みの受付を行いません。

- ・ オーストラリア証券取引所の休業日およびその前営業日
- シドニーまたはメルボルンの銀行の休業日およびその前営業日

「申込不可日」につきましては、販売会社又は委託会社にお問い合わせ下さい。また、委託会 社のホームページにも、掲載いたします。

## 換金申込受付時間

原則として、換金の申込みに係る、販売会社所定の事務手続きが午後3時30分までに完了した ものを当日の申込受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますの で、詳細は販売会社にご確認ください。

## 解約請求制による換金手続

・ 受益者は、取得申込みを取り扱った販売会社を通じて委託会社に、販売会社の定める単位を もって、解約の請求をすることができます。

解約単位につきましては、販売会社にお問い合わせ下さい。

- ・ 受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求に係るこの投資信託契約の一部解約を委託会社が行うのと引き換えに、当該一部解約に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。
- ・ 解約価額は、解約請求受付日の翌営業日の基準価額から当該基準価額に0.10%の率を乗じて得た額を信託財産留保額として控除した価額とします。解約価額については、取得申込みを取り扱った販売会社にお問い合わせ下さい。
- 解約手数料はありません。

・ 解約代金は、解約請求受付日から起算して、原則として、7営業日目から販売会社を通じてお 支払いします。

なお、投資対象とする投資信託証券にかかる解約請求の受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、解約代金の支払日が遅延する場合があります。

# 解約請求の受付の中止及び取消

- ・ 委託会社は、投資対象とする投資信託証券にかかる解約請求の受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、解約請求の受付を中止することや、すでに受付けた解約請求の受付を取消すことができるものとします。
- ・ 解約請求の受付が中止された場合には、受益者は当該受付の中止以前に行った当日の解約請求 を撤回できます。ただし、受益者がその解約請求を撤回しない場合には、当該解約価額は、当 該受付再開後の最初の基準価額の計算日(ただし、申込不可日を除きます。)に解約請求を受 付けたものとして計算された価額とします。

買取によるご換金については、販売会社にお問い合わせ下さい。

照会先

SBI岡三アセットマネジメント株式会社

電話番号 03-3516-1300

受付時間 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ https://www.sbiokasan-am.co.jp

#### 3【資産管理等の概要】

# (1)【資産の評価】

# 基準価額の計算方法

基準価額は、投資信託財産に属する資産を法令及び一般社団法人投資信託協会規則に従って時価または一部償却原価法により評価して得た投資信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額(以下、「純資産総額」といいます。)を、計算日における受益権総口数で除した金額をいいます。

なお、基準価額は、便宜上1万口当たりで表示されることがあります。

### 投資信託証券の評価

内国投資信託証券は、投資信託証券の基準価額で評価します。 マザーファンドは、マザーファンドの基準価額で評価します。

# 債券の評価

投資信託証券を通じて投資する債券は、原則として、日本証券業協会発表の売買参考統計値 (平均値)、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額(ただし、売気配相場を除く。)又は価格情報会社の提供する価額等で評価します。

#### 基準価額に関する照会方法等

基準価額は、原則として委託会社の毎営業日に計算されます。

基準価額は、販売会社または下記の照会先にお問い合わせください。

照会先

SBI岡三アセットマネジメント株式会社

電話番号 03-3516-1300

受付時間 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ https://www.sbiokasan-am.co.jp

なお、基準価額は、計算日の翌日付の日本経済新聞に1万口当たりで掲載されます。掲載に関する権利は株式会社日本経済新聞社にあり、掲載されない場合もあります。

#### (2)【保管】

該当事項はありません。

#### (3)【信託期間】

信託期間は、2014年1月21日から無期限とします。

ただし、投資信託契約の解約(繰上償還)の規定により信託を終了させる場合があります。

#### (4)【計算期間】

計算期間は、原則として、毎年1月21日から翌年1月20日までとします。

また、各計算期間終了日に該当する日(以下「該当日」といいます。)が休業日のとき、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。

#### (5)【その他】

投資信託契約の解約(繰上償還)

- a 委託会社は、信託期間中において、この信託を終了させることが受益者のため有利であると 認めるとき、投資信託契約の一部を解約することにより受益権口数が5億口を下回ったとき、 またはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、この投資信託契約を解 約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解 約しようとする旨を監督官庁に届出ます。
- b 委託会社は、aの事項について、書面による決議(以下「書面決議」といいます。)を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに投資信託契約の解約の理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この投資信託契約にかかる知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を発します。
- c bの書面決議において、受益者(委託会社およびこの信託の投資信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権にかかる受益者としての受託会社を除きます。以下同じ。)は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使することができます。なお、知れている受益者が議決権を行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
- d bの書面決議は議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数を もって行います。
- e bからdまでの規定は、委託会社が投資信託契約の解約について提案をした場合において、 当該提案につき、この投資信託契約にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により 同意の意思表示をしたときには適用しません。また、投資信託財産の状態に照らし、真にや むを得ない事情が生じている場合であってbからdまでの手続きを行うことが困難な場合に は適用しません。

# 投資信託契約に関する監督官庁の命令

- a 委託会社は、監督官庁よりこの投資信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、投資信託契約を解約し、信託を終了させます。
- b 委託会社は、監督官庁の命令に基づいてこの投資信託約款を変更しようとするときは、投資 信託約款の変更等の規定にしたがいます。

# 委託会社の登録取消等に伴う取扱い

- a 委託会社が監督官庁より登録の取消を受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したとき は、委託会社は、この投資信託契約を解約し、信託を終了させます。
- b aの規定にかかわらず、監督官庁がこの投資信託契約に関する委託会社の業務を他の投資信託委託会社に引継ぐことを命じたときは、この信託は、投資信託約款の変更等の書面決議で 否決された場合を除き、当該他の投資信託委託会社と受託会社の間において存続します。

# 委託会社の事業の譲渡および承継に伴う取扱い

- a 委託会社は、事業の全部または一部を譲渡することがあり、これに伴い、この投資信託契約 に関する事業を譲渡することがあります。
- b 委託会社は、分割により事業の全部または一部を承継させることがあり、これに伴い、この 投資信託契約に関する事業を承継させることがあります。

#### 受託会社の辞任および解任に伴う取扱い

- a 受託会社は、委託会社の承諾を受けてその任務を辞任することができます。受託会社がその 任務に違反して投資信託財産に著しい損害を与えたことその他重要な事由があるときは、委 託会社または受益者は、裁判所に受託会社の解任を申立てることができます。受託会社が辞 任した場合、または裁判所が受託会社を解任した場合、委託会社は、投資信託約款の変更等 の規定にしたがい、新受託会社を選任します。なお、受益者は、上記によって行う場合を除 き、受託会社を解任することはできないものとします。
- b 委託会社が新受託会社を選任できないときは、委託会社はこの投資信託契約を解約し、信託 を終了させます。

#### 投資信託約款の変更等

- a 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、この投資信託約款を変更することまたはこの信託と他の信託との併合(投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。以下同じ。)を行うことができるものとし、あらかじめ、変更または併合しようとする旨およびその内容を監督官庁に届出ます。なお、この投資信託約款は、この投資信託約款の変更等に定める以外の方法によって変更することができないものとします。
- b 委託会社は、aの事項(投資信託約款の変更事項にあっては、その内容が重大なものに該当する場合に限り、併合にあっては、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものに該当する場合を除き、以下、合わせて「重大な約款の変更等」といいます。)について、書面決議を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに重大な約款の変更等の内容およびその理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この投資信託約款にかかる知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を発します。
- c bの書面決議において、受益者(委託会社およびこの信託の投資信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権にかかる受益者としての受託会社を除きます。以下同じ。)は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使することができます。なお、知れている受益者が議決権を行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。

- d bの書面決議は議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行います。
- e 書面決議の効力は、この信託のすべての受益者に対してその効力を生じます。
- f bからeまでの規定は、委託会社が重大な約款の変更等について提案をした場合において、 当該提案につき、この投資信託約款にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により 同意の意思表示をしたときには適用しません。
- g a から f までの規定にかかわらず、この投資信託において併合の書面決議が可決された場合にあっても、当該併合にかかる一または複数の他の投資信託において当該併合の書面決議が 否決された場合は、当該他の投資信託との併合を行うことはできません。

# 反対受益者の受益権買取請求の不適用

ファンドは、受益者が一部解約の実行の請求を行ったときは、委託会社が投資信託契約の一部の解約をすることにより当該請求に応じ、当該受益権の公正な価格が当該受益者に一部解約金として支払われることとなる委託者指図型投資信託に該当するため、投資信託契約の解約(繰上償還)または重大な約款の変更等を行う場合において、投資信託及び投資法人に関する法律第18条第1項に定める反対受益者による受益権の買取請求の規定の適用を受けません。

# 他の受益者の氏名等の開示の請求の制限

受益者は、委託会社または受託会社に対し、「他の受益者の氏名または名称および住所」、「他の受益者が有する受益権の内容」の開示の請求を行うことはできません。

#### 運用報告書

委託会社は、毎計算期間終了後および償還時に、期中の運用経過等を記載した交付運用報告書 を作成し、知れている受益者に、販売会社を通じて交付します。

運用報告書(全体版)は、委託会社のホームページに掲載します。ただし、受益者から運用報告書(全体版)の請求があった場合には、これを交付します。

https://www.sbiokasan-am.co.jp

#### 公告

委託会社が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行い、次のアドレスに掲載します。

https://www.sbiokasan-am.co.jp

なお、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の 公告は、日本経済新聞に掲載します。

### 信託事務の再信託

受託会社は、ファンドに係る信託事務の処理の一部について株式会社日本カストディ銀行と再信託契約を締結し、これを委託することができます。

この場合、株式会社日本カストディ銀行は、再信託契約に基づいて所定の事務を行います。

# 関係法人との契約の更改等に関する手続等

# 販売会社との契約更改

委託会社は、販売会社との間の「投資信託受益権の取扱い等に関する契約(別の名称で同様の権利義務関係を規定する契約を含みます。)」に基づき、受益権の募集の取扱い等を販売会社に委託しています。

この契約の有効期間は、契約締結日から1年で、期間満了の3ヵ月前までに委託会社又は販売会社から別段の申し出が無いときは自動的に1年間更新され、その後も同様とします。

# 変更内容の開示

販売会社との契約または投資信託約款を変更した場合において、委託会社が変更内容について速やかに開示する必要があると認めるときは、有価証券届出書の訂正届出書を関東財務局長に提出することにより、変更内容を開示します。

# 4【受益者の権利等】

#### ファンドの受益権

受益権は、その取得申込口数に応じて、取得申込者に帰属します。

受益権は、信託の日時を異にすることにより差異を生ずることはありません。

### 収益分配金に対する請求権

受益者は、ファンドに係る収益分配金を持分に応じて請求する権利を有します。

収益分配金は、計算期間終了日から起算して、原則として、5営業日までに販売会社を通じて受益者に支払いを開始します。前記にかかわらず、分配金再投資コースのあるファンドで当該コースを申込んだ受益者に対しては、原則として、毎計算期間終了日の翌営業日に、収益分配金が販売会社に交付されます。販売会社は、受益者に対し、計算期間終了日の基準価額をもって収益分配金の再投資に係る受益権の売付を行います。

受益者が、収益分配金について支払い開始日から5年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託会社から交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。

収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者 (当該収益分配金に係る決算日以前において一部解約が行われた受益権に係る受益者を除き ます。また、当該収益分配金に係る決算日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前の ため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者と します。)にお支払いします。また、分配金再投資コースの場合、再投資により増加した受 益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

# 償還金に対する請求権

受益者は、ファンドに係る償還金を持分に応じて請求する権利を有します。

償還金は、償還日(償還日が休業日の場合は翌営業日)から起算して、原則として、5営業日までに販売会社を通じて受益者に支払いを開始します。

受益者が、償還金について支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託会社から交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。

償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(償還日以前において一部解約が行われた受益権に係る受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。)にお支払いします。

# 換金に係る権利

受益者は、委託会社に対して、解約請求を行う権利を有します。

### 書類の閲覧権

受益者は、委託会社に対して、当該受益者に係る投資信託財産に関する書類の閲覧又は謄写 を請求することができます。

# 第3【ファンドの経理状況】

- 1.当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令 第59号)並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府 令第133号)に基づいて作成しております。
  - なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- 2.当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第11期計算期間(2024年 1月23日から2025年 1月20日まで)の財務諸表について、東陽監査法人により監査を受けております。
- 1【財務諸表】

# 【三重県応援・債券ファンド(1年決算型)】

# (1)【貸借対照表】

		(単位:円)
	第10期 (2024年 1月22日現在)	第11期 (2025年 1月20日現在)
資産の部		
流動資産		
金銭信託	1,342,424	1,197,762
コール・ローン	22,166,566	10,033,152
投資信託受益証券	778,621,886	493,694,875
親投資信託受益証券	198,863,913	126,640,412
未収利息	<u>-</u>	56
流動資産合計	1,000,994,789	631,566,257
資産合計	1,000,994,789	631,566,257
負債の部		
流動負債		
未払解約金	-	2,283,468
未払受託者報酬	189,833	155,282
未払委託者報酬	4,983,196	4,076,091
未払利息	28	-
その他未払費用	57,019	46,526
流動負債合計	5,230,076	6,561,367
負債合計	5,230,076	6,561,367
純資産の部		
元本等		
元本	*1 824,394,874	*1 506,436,339
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金( )	171,369,839	118,568,551
(分配準備積立金)	56,875,076	42,877,287
元本等合計	995,764,713	625,004,890
純資産合計	*2 995,764,713	*2 625,004,890
負債純資産合計	1,000,994,789	631,566,257

# (2)【損益及び剰余金計算書】

		(単位:円)
	第10期 自 2023年 1月21日 至 2024年 1月22日	第11期 自 2024年 1月23日 至 2025年 1月20日
受取配当金	16,095,585	20,827,363
受取利息	27	16,060
有価証券売買等損益	47,061,872	22,849,488
営業収益合計	63,157,484	43,692,911
一 営業費用		
支払利息	5,329	234
受託者報酬	260,851	366,699
委託者報酬	6,847,337	9,625,870
その他費用	79,448	110,025
営業費用合計	7,192,965	10,102,828
営業利益又は営業損失()	55,964,519	33,590,083
経常利益又は経常損失( )	55,964,519	33,590,083
当期純利益又は当期純損失( )	55,964,519	33,590,083
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解 約に伴う当期純損失金額の分配額( )	352,909	23,184,532
期首剰余金又は期首欠損金()	9,821,320	171,369,839
剰余金増加額又は欠損金減少額	107,635,136	14,937,581
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少 額	107,635,136	14,937,581
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,698,227	78,144,420
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加 額	1,698,227	78,144,420
分配金	*1 -	*1 -
期末剰余金又は期末欠損金()	171,369,839	118,568,551

# (3)【注記表】

( 重要か会計方針に係る事項に関する注記 )

<u>(重要な会計万針に係る事埧に関す</u>	つ注記 /
期 別項 目	第11期 自 2024年 1月23日 至 2025年 1月20日
	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価に当たって は、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
	投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価に当たって は、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
	受取配当金 原則として、投資信託の分配落ち日に計上しております。
	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
なる重要な事項	計算期間の取扱い 当ファンドの計算期間は、前期末が休日のため、2024年 1月23日から2025年 1月20 日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

_	(貝目別煕衣に関する注記)			
	第10期		第11期	
	(2024年 1月22日現在)		(2025年 1月20日現在)	
-	*1. 当該計算期間の末日における受益権の総数	*1.	当該計算期間の末日における受益権の総数	ל
	824,394,874□		5	506,436,339□
,	*2. 当該計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	*2.	当該計算期間の末日における1単位当たり	の純資産の額
	1口当たりの純資産額 1.2079円		1口当たりの純資産額	1.2341円
	(10,000口当たりの純資産額 12,079円)		(10,000口当たりの純資産額	12,341円)

(捐益及び剰全全計算書に関する注記)

<u>(摂血区の制ホ並引昇音に関する注記)</u>	)		
第10期		第11期	
自 2023年 1月21日 至 2024年 1月22日		自 2024年 1月23日 至 2025年 1月20日	
王 2024年 1月22日		王 2025年 1月20日	
*1.分配金の計算過程		*1.分配金の計算過程	
費用控除後の配当等収A 益額	17,818,801円	費用控除後の配当等収A 益額	10,768,046円
費用控除後・繰越欠損B 金補填後の有価証券売 買等損益額	32,605,785円	費用控除後・繰越欠損B 金補填後の有価証券売 買等損益額	0円
収益調整金額C	524,591,672円	収益調整金額 C	325,898,880円
分配準備積立金額 D	6,450,490円	分配準備積立金額 D	32,109,241円
当ファンドの分配対象 E=A+B+C+D 収益額	581,466,748円	当ファンドの分配対象 E=A+B+C+D 収益額	368,776,167円
当ファンドの期末残存F 口数	824,394,874□	当ファンドの期末残存F 口数	506,436,339□
10,000口当たり収益分G=E/F*10,000 配対象額	7,053円	10,000口当たり収益分G=E/F*10,000 配対象額	7,281円
10,000口当たり分配金H 額	0円	10,000口当たり分配金H 額	0円
収益分配金金額 I=F*H/10,000	0円	収益分配金金額 I=F*H/10,000	0円

(金融商品に関する注記)

1. 並煕尚品の仏派に関する事	+ 坦			
項目	期	別	第10期 自 2023年 1月21日 至 2024年 1月22日	第11期 自 2024年 1月23日 至 2025年 1月20日
1.金融商品に対する取組方針			当ファンドは証券投資信託であり、信託 約款に規定する「運用の基本方針」に従 い、有価証券等の金融商品を投資対象と して運用することを目的としておりま す。	同左

項	期別	第10期 自 2023年 1月21日 至 2024年 1月22日	第11期 自 2024年 1月23日 至 2025年 1月20日
2	.金融商品の内容及び当該金融商品に 係るリスク	当ファンドが運用する主な有価証券に 売買目が有価証券であり、 高有価証券の音がです。 高有価証券の計算をは 表」に記載では、す。 を保有の主要がは、 動りない、 動りない、 ものもであり、 ものもであり、 ものもであり、 ものもであり、 は、 ものもであり、 は、 ものもであり、 は、 ものもであり、 は、 ものもであり、 は、 ものもであり、 は、 ものものものものものもの。 ものものは、 ものものは、 ものものものは、 ものものものものは、 ものものものものものものは、 は、 ものものものものものものものものものものものものものものものものものものもの	同左
3	. 金融商品に係るリスク管理体制	いて、運用に関する内規の制定及びスク連用に関する内規の開発である。 原、運用が事項の決定をでは、 運用が事項の決定をでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	当いた。 管用 につ内指おグマ会評や資の規範を表して、 で、

2 全融商品の時価等に関する事項

<u> 2.                                   </u>		
期別		第11期
項 目	(2024年 1月22日現在)	(2025年 1月20日現在)
	貸借対照表上の金融商品は原則として全 て時価で評価しているため、貸借対照表 計上額と時価との差額はありません。	同左
	時価の算定方法は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」に記載しております。この他、コール・ローン等は短期間で決済され、時価は帳簿価格と近似していることから、当該帳簿価格を時価としております。	同左

(関連当事者との取引に関する注記)

( 周廷当事首との私引に属する圧む /	
第10期	第11期
自 2023年 1月21日	自 2024年 1月23日
至 2024年 1月22日	至 2025年 1月20日
該当事項はありません。	同左

(重要な後発事象に関する注記)

<u>(里女は仮光尹豕に因りる注記)</u>		
	第11期	
	自 2024年 1月23日	
	至 2025年 1月20日	
該当事項はありません。		

# (その他の注記) 1.元本の移動

1 · / U/T· V/I/2 ±//			
第10期 (2024年 1月22日現在)		第11期 (2025年 1月20日現在)	
投資信託財産に係る元本の状況		投資信託財産に係る元本の状況	
期首元本額	100,211,772円	期首元本額	824,394,874円
期中追加設定元本額	738,412,567円	期中追加設定元本額	54,367,661円
期中一部解約元本額	14,229,465円	期中一部解約元本額	372,326,196円

# 2.有価証券関係

売買目的有価証券の当計算期間の損益に含まれた評価差額

# 第10期(自 2023年 1月21日 至 2024年 1月22日)

(単位:円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
投資信託受益証券	37,041,576
親投資信託受益証券	9,865,979
合計	46,907,555

# 第11期(自 2024年 1月23日 至 2025年 1月20日)

(単位:円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
投資信託受益証券	1,277,973
親投資信託受益証券	3,953,797
合計	2,675,824

3. デリバティブ取引関係 該当事項はありません。

# (4)【附属明細表】

1.有価証券明細表 株式

該当事項はありません。

#### 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証 券	日本円	F T・オーストラリア債券ファンド (適格機関投資家専用)	1,135,975,324	493,694,875	
	計	銘柄数:1	1,135,975,324	493,694,875	
		組入時価比率:79.0%		100.0%	
	投資信託受益証券合	計		493,694,875	
親投資信託受益	日本円	三重県関連債券マザーファンド	32,287,095	34,188,804	
証券		アジア・ニュージーランド債券マ ザーファンド	43,171,426	92,451,608	
	計	銘柄数:2	75,458,521	126,640,412	
		組入時価比率:20.3%		100.0%	
	親投資信託受益証券	合計		126,640,412	
	合計			620,335,287	

- (注)1. 比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の各合計金額に対する比率であります。
  - 2.親投資信託受益証券及び投資信託受益証券の券面総額欄には、口数を表示しております。
- 2. デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等、時価の状況表該当事項はありません。

# (参考)

当ファンドは、「アジア・ニュージーランド債券マザーファンド」、「三重県関連債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象としております。貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、当該マザーファンドの受益証券です。

マザーファンドの経理状況は参考情報であり、監査証明の対象ではありません。

# アジア・ニュージーランド債券マザーファンド

# 貸借対照表

(単位:円)

					(半位・口)
	期	別	注記番 号	2024年 1月22日現在	2025年 1月20日現在
科目			7	金額	金額
資産の部					
流動資産					
預金				-	9,472,303
金銭信託				10,847,019	16,491,718
コール・ローン				179,109,633	138,144,186
国債証券				5,178,863,380	4,095,123,779
未収利息				50,752,181	37,179,762
前払費用				2,861,229	2,479,301
流動資産合計				5,422,433,442	4,298,891,049
資産合計				5,422,433,442	4,298,891,049
負債の部					
流動負債					
未払利息				228	-
その他未払費用				1,873	-
流動負債合計				2,101	-
負債合計				2,101	-
純資産の部					
元本等					
元本			*1	2,680,343,583	2,007,387,463
剰余金					
剰余金又は欠損金( )				2,742,087,758	2,291,503,586
元本等合計				5,422,431,341	4,298,891,049
純資産合計			*2	5,422,431,341	4,298,891,049
負債純資産合計				5,422,433,442	4,298,891,049

# 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

(主女は云山万町にかる事項に因う	
期別	
項目	至 2025年 1月20日
1.有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券
	個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価に当たっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額(ただし、売気配相場は使用しない)、又は価格情報会社の提供する価額で評価しております。ただし、償還日までの残存期間が1年以内の債券について、価格変動性が限定的で、償却原価法による評価が合理的であり、かつ受益者の利益を害しないと委託会社が判断した場合は、償却原価法によって評価しております。
算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算 原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算して おります。
	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
	為替差損益 約定日基準で計上しております。
4.その他財務諸表作成のための基本と なる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条及び第61条に基づいております。

(貸借対照表に関する注記)

_		
	2024年 1月22日現在	2025年 1月20日現在
I	*1. 当該計算期間の末日における受益権の総数	*1. 当該計算期間の末日における受益権の総数

	2024年 1月22日現在			2025年 1月20日現	在
		2,680,343,583□			2,007,387,463□
*2.	当該計算期間の末日における1単位当が	とりの純資産の額	*2.	当該計算期間の末日における1単位	立当たりの純資産の額
	1口当たりの純資産額	2.0230円		1口当たりの純資産額	2.1415円
	(10,000口当たりの純資産額	20,230円)		(10,000口当たりの純資産額	21,415円)

# (金融商品に関する注記)

1. 金融商品の状況に関する事項		
期 別項 目	自 2023年 1月21日 至 2024年 1月22日	自 2024年 1月23日 至 2025年 1月20日
	当ファンドは証券投資信託であり、信託 約款に規定する「運用の基本方針」に従 い、有価証券等の金融商品を投資対象と して運用することを目的としておりま す。	同左
	当売る記しクのリ他権スな引定た替のに有ス等ー債リ 取安し為場のであるで、対したのがあるで、対したのが有があるで、対したのがあるで、対したのが有がは、当なりが有がは、当なりが有がは、当なりが有がは、当なりが有がは、当なりでは、でいるで、でいて、対しのがでは、対した、でいるでは、いるでは、	同左
	廃理部で基い規図りフ検フ付報握 なは社取 原理部で基い規図りフ検フ付報握 なは社取 連関とできるようででは、 のほ門に対する重要が がで理がでするでは、 ででででは、 ででででは、 ででででででででででででででででででで	当い廃理部で基)に改力運が、大大学のでは、大大学のでは、大大学のでは、大学を関する。 おいま では、大学を関する。 おいま では、大学を関する。 おいま では、大学を関する。 おいま では、大学を関する。 おいま では、大学をできます。 は、大学をできます。 は、大学をできます。 は、大学をできます。 は、大学をできます。 は、大学をできます。 は、大学をできます。 は、大学をできます。 は、大学をできませる。 は、大学をできませる。 は、大学をできませる。 は、大学をできませる。 は、大学をできません。 は、大学をいいません。 は、大学をいいますない。 は、大学をいいますないまりまりますない。 は、大学をいいまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりま

# 2.金融商品の時価等に関する事項

2. 並附同田の时間分に因うる事項		
期 別 項 目	2024年 1月22日現在	2025年 1月20日現在
1.貸借対照表額、時価及び差額	貸借対照表上の金融商品は原則として全て時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2 . 時価の算定方法	時価の算定方法は、「重要な会計方針に 係る事項に関する注記」に記載しており ます。この他、コール・ローン等は短期 間で決済され、時価は帳簿価格と近似し ていることから、当該帳簿価格を時価と しております。	同左

# (その他の注記) 1.元本の移動

2024年 1月22日現在	
投資信託財産に係る元本の状況	
期首	2023年 1月21日
期首元本額	2,161,655,092円
期首より2024年 1月22日までの追加設定元本額	568,002,282円
期首より2024年 1月22日までの一部解約元本額	49,313,791円
期末元本額	2,680,343,583円
2024年 1月22日現在の元本の内訳(*)	
アジア・オセアニア債券オープン(毎月決算型)	1,753,680,537円
三重県応援・債券ファンド(毎月決算型)	350,472,347円
アジア・オセアニア債券オープン(1年決算型)	495,231,353円
三重県応援・債券ファンド(1年決算型)	80,959,346円

2025年 1月20日現在	
投資信託財産に係る元本の状況	
期首	2024年 1月23日
期首元本額	2,680,343,583円
期首より2025年 1月20日までの追加設定元本額	2,318,035円
期首より2025年 1月20日までの一部解約元本額	675,274,155円
期末元本額	2,007,387,463円
2025年 1月20日現在の元本の内訳(*)	
アジア・オセアニア債券オープン (毎月決算型)	1,396,943,184円
三重県応援・債券ファンド(毎月決算型)	248,859,513円
アジア・オセアニア債券オープン (1年決算型)	318,413,340円
三重県応援・債券ファンド(1年決算型)	43,171,426円

<sup>\*</sup> は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託毎の元本額

# 2.有価証券関係

売買目的有価証券の当計算期間の損益に含まれた評価差額

# 2024年 1月22日現在

(単位:円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
国債証券	47,635,71
合計	47,635,71

# 2025年 1月20日現在

(単位:円)

	(1.2.15)
種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
国債証券	6,115,167
合計	6,115,167

# 3. デリバティブ取引関係 該当事項はありません。

# 附属明細表

# 1.有価証券明細表

株式

該当事項はありません。

# 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
国債証券		NEW ZEALAND GVT 3	5,000,000.00	4,796,750.00	
	ドル	NEW ZEALAND GVT 4.5	7,000,000.00	7,101,710.00	

			有価証券届出書(内国投
	NEW ZEALAND GVT 4.5	8,000,000.00	7,834,720.00
計	<b>銘柄数:3</b>	20,000,000.00	19,733,180.00
			(1,723,890,604)
	組入時価比率:40.1%		42.1%
タイバーツ	THAILAND GOVT 2.125	20,000,000.00	20,022,600.00
	THAILAND GOVT 3.35	30,000,000.00	32,192,100.00
計	銘柄数:2	50,000,000.00	52,214,700.00
			(236,532,591)
	組入時価比率:5.5%		5.8%
	アリンMALAYSIA GOVT 2.632	12,000,000.00	11,234,160.00
ギット	MALAYSIA GOVT 3.582	10,000,000.00	9,857,700.00
	MALAYSIA GOVT 4.054	6,000,000.00	6,045,660.00
	MALAYSIA GOVT 4.504	6,000,000.00	6,208,980.00
計	<b>銘柄数:4</b>	34,000,000.00	33,346,500.00
			(1,154,785,960)
	組入時価比率:26.9%		28.2%
	アルピINDONESIA GOV'T 10	12,000,000,000.00	13,019,160,000.00
ア	INDONESIA GOV'T 11	10,000,000,000.00	10,249,500,000.00
	INDONESIA GOV'T 7	10,000,000,000.00	10,020,300,000.00
	INDONESIA GOV'T 7	30,000,000,000.00	30,004,200,000.00
	INDONESIA GOV'T 7.5	38,000,000,000.00	38,781,280,000.00
計	<b>銘柄数:</b> 5	100,000,000,000.00	102,074,440,000.00
			(979,914,624)
	組入時価比率:22.8%		23.9%
合計			4,095,123,779
			(4,095,123,779)

- (注)1.小計欄の()内は、邦貨換算額であります。
  - 2.合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。
  - 3.比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の各合計金額に対する比率であります。
- 2. デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等、時価の状況表該当事項はありません。

# 三重県関連債券マザーファンド

# 貸借対照表

(単位:円)

					(単位・门)
	期	別	注記番号	2024年 1月22日現在	2025年 1月20日現在
科目			5	金額	金額
資産の部 流動資産 金銭信託 コール・ローン 地方債証券 未収利息 流動資産合計 資産合計 負債の部				68,642 1,133,434 198,826,000 238,344 200,266,420 200,266,420	192,727,000 299,628 195,158,690

	期別	別 注記番 号	2024年 1月22日現在	2025年 1月20日現在
科目		7	金額	金額
流動負債				
未払利息			1	-
流動負債合計			1	-
負債合計			1	-
純資産の部				
元本等				
元本		*1	184,297,495	184,297,495
剰余金				
剰余金又は欠損金( )			15,968,924	10,861,195
元本等合計			200,266,419	195,158,690
純資産合計		*2	200,266,419	195,158,690
負債純資産合計			200,266,420	195,158,690

# 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

(主女な女们力」に示る事項に関す	0/工心 /
期 別項 目	自 2024年 1月23日 至 2025年 1月20日
<del>Д</del> Н	T 2020 1 1/120H
1.有価証券の評価基準及び評価方法	地方債証券
	個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価に当たっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額(ただし、売気配相場は使用しない)、又は価格情報会社の提供する価額で評価しております。ただし、償還日までの残存期間が1年以内の債券について、価格変動性が限定的で、償却原価法による評価が合理的であり、かつ受益者の利益を害しないと委託会社が判断した場合は、償却原価法によって評価しております。
	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。

(貸借対照表に関する注記)

	2024年 1月22日現在		2025年 1月20日現在	
*1.	当該計算期間の末日における受益権の総数	*1.	当該計算期間の末日における受益権の	総数
	184,297,495	]		184,297,495□
*2.	当該計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	*2.	当該計算期間の末日における1単位当だ	≿りの純資産の額
	1口当たりの純資産額 1.0866円	3	1口当たりの純資産額	1.0589円
	(10,000口当たりの純資産額 10,866円	)	(10,000口当たりの純資産額	10,589円)

(金融商品に関する注記) 1 全融商品の状況に関する事項

L	. 歩融冏品の状况に関りる事項		
Ιţ	期別	自 2023年 1月21日 至 2024年 1月22日	自 2024年 1月23日 至 2025年 1月20日
1	. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託であり、信託 約款に規定する「運用の基本方針」に従 い、有価証券等の金融商品を投資対象と して運用することを目的としておりま す。	同左
2	.金融商品の内容及び当該金融商品に 係るリスク	当ファンドが運用する主な有価証券は、 売買目的の有価証券であります。保有」 ま有価証券の詳細は、「有す。細表」 に有います。当該に有いの主要なります。当該に有がであります。当該に有がであります。 に有いております。との他には、すに有いないです。 というのです。 はいいのですのと はいいのです。 はいいのでは、 に有いては、 に有いては、 に有いては、 にもいるです。 にもいるです。 にもいるでは、 にもいるでも、 に	同左

I	<b>自</b>	期	別	自 2023年 1月21日 至 2024年 1月22日	自 2024年 1月23日 至 2025年 1月20日
3	3.金融商品に係るリス	ク管理体制		いた、 運用に関すった。 運用が表示では、 運用が表示では、 運用が表示で、 運用が表示で、 で、 運用が表示で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	当いた。 当いた。 当いた。 はいた。 というでは、 といいがは、  といいがは、 といいがは、 といいがは、 といいがは、 といいがは、 といいがは、 といいがは、 といいがは、 といいがは、  といいがは、 といいがは、 といいがは、 といいがは、 といいがは、 といいがは、 といいがは、 といいがは、 といいがは、

2 全融商品の時価等に関する事項

<u> 2. 並熈间吅の时間守に関する事項</u>		
期 別項 目	2024年 1月22日現在	2025年 1月20日現在
1.貸借対照表額、時価及び差額	貸借対照表上の金融商品は原則として全 て時価で評価しているため、貸借対照表 計上額と時価との差額はありません。	同左
2 . 時価の算定方法	時価の算定方法は、「重要な会計方針に 係る事項に関する注記」に記載しており ます。この他、コール・ローン等は短期 間で決済され、時価は帳簿価格と近似し ていることから、当該帳簿価格を時価と しております。	同左

# (その他の注記)

_1. 几平切移到	
2024年 1月22日現在	
投資信託財産に係る元本の状況	
期首	2023年 1月21日
期首元本額	90,569,757円
期首より2024年 1月22日までの追加設定元本額	103,065,494円
期首より2024年 1月22日までの一部解約元本額	9,337,756円
期末元本額	184,297,495円
2024年 1月22日現在の元本の内訳(*)	
三重県応援・債券ファンド(毎月決算型)	152,010,400円
三重県応援・債券ファンド(1年決算型)	32,287,095円

2025年 1月20日現在	
投資信託財産に係る元本の状況	
期首	2024年 1月23日
期首元本額	184,297,495円
期首より2025年 1月20日までの追加設定元本額	- 円
期首より2025年 1月20日までの一部解約元本額	- 円
期末元本額	184,297,495円
2025年 1月20日現在の元本の内訳(*)	
三重県応援・債券ファンド(毎月決算型)	152,010,400円
三重県応援・債券ファンド(1年決算型)	32,287,095円

<sup>\*</sup> は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託毎の元本額

# 2.有価証券関係

売買目的有価証券の当計算期間の損益に含まれた評価差額

2024年 1月22日現在

(単位:円)

	当計算期間の損益に含まれた評価差額
--	-------------------

地方債証券	2,458,000
合計	2,458,000

#### 2025年 1月20日現在

(単位:円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
地方債証券	6,099,000
合計	6,099,000

3. デリバティブ取引関係 該当事項はありません。

#### 附属明細表

1.有価証券明細表 株式 該当事項はありません。

#### 株式以外の有価証券

1412-0 (2) 12 (BHT)					
種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
地方債証券	日本円	令和2年度第1回三重県公募公債	100,000,000	95,130,000	
		令和 5 年度第 1 回三重県公募公債 (グリーンボンド)	100,000,000	97,597,000	
	計	銘柄数:2	200,000,000	192,727,000	
		組入時価比率:98.8%		100.0%	
	合計			192,727,000	

(注)1.比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の各合計金額に対する比率であります。

2. デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等、時価の状況表該当事項はありません。

フランクリン・テンプルトン・オーストラリア債券ファンド(適格機関投資家専用)

ファンドは、フランクリン・テンプルトン・オーストラリア債券ファンド (適格機関投資家専用)を主要投資対象としております。

以下の経理状況は、フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社から提供された財務諸表です。

#### ファンドの経理状況

- (1)当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。 なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- (2) 当ファンドの計算期間は6ヵ月未満であるため、財務諸表は6ヵ月ごとに作成しております。
- (3) 当ファンドは、当特定期間 (2024年 7月12日から2025年 1月14日まで)の財務諸表について、PwC Japan 有限責任監査法人による監査を受けております。

# 1財務諸表

フランクリン・テンプルトン・オーストラリア債券ファンド(適格機関投資家専用)

# (1)貸借対照表

		(単位:円)
	前期 2024年 7月11日現在	当期 2025年 1月14日現在
資産の部		
流動資産		
預金	92,225,928	38,459,565
コール・ローン	192,534,429	965,883,947
国債証券	15,673,942,227	11,585,696,415
地方債証券	23,168,086,907	19,236,283,064
特殊債券	3,377,051,179	2,694,026,490
社債券	46,242,676,691	38,755,232,860
未収入金	627,077,053	9,974,208
未収利息	733,127,110	631,005,358
前払費用	14,090,756	5,339,164
その他未収収益	9,895,182	28,425,139
差入委託証拠金	2,043,986	1,857,093
流動資産合計	90,132,751,448	73,952,183,303
資産合計	90,132,751,448	73,952,183,303
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	3,243,056	-
未払金	87,280,000	-
未払収益分配金	222,122,392	203,468,763
未払解約金	117,039,998	50,459,999
未払受託者報酬	798,992	773,195
未払委託者報酬	35,954,603	34,793,721
その他未払費用	281,334	308,973
流動負債合計	466,720,375	289,804,651
負債合計	466,720,375	289,804,651
純資産の部		
元本等		
元本	185,101,993,667	169,557,302,579
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金( )	95,435,962,594	95,894,923,927
(分配準備積立金)	99,212,225	51,698,270
元本等合計	89,666,031,073	73,662,378,652
純資産合計	89,666,031,073	73,662,378,652
負債純資産合計	90,132,751,448	73,952,183,303

# (2)損益及び剰余金計算書

		(単位:円)_
	前期 自 2024年 1月12日 至 2024年 7月11日	当期 自 2024年 7月12日 至 2025年 1月14日
受取利息	1,516,621,921	1,397,906,205
有価証券売買等損益	210,858,308	371,029,167
為替差損益	9,601,840,501	9,351,977,422
その他収益	19,800,605	18,561,824
営業収益合計	10,927,404,719	7,564,480,226
営業費用		
支払利息	87,354	-
受託者報酬	4,791,533	4,482,726
委託者報酬	215,618,813	201,722,570
その他費用	5,472,870	4,972,074
営業費用合計	225,970,570	211,177,370
営業利益又は営業損失()	10,701,434,149	7,775,657,596

経常利益又は経常損失()	10,701,434,149	7,775,657,596
当期純利益又は当期純損失( )	10,701,434,149	7,775,657,596
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解 約に伴う当期純損失金額の分配額( )	57,759,082	12,863,651
期首剰余金又は期首欠損金( )	115,272,856,111	95,435,962,594
剰余金増加額又は欠損金減少額	10,851,149,532	8,973,385,332
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少 額	10,851,149,532	8,973,385,332
剰余金減少額又は欠損金増加額	267,496,602	398,714,141
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加 額	267,496,602	398,714,141
分配金	1,390,434,480	1,270,838,579
期末剰余金又は期末欠損金()	95,435,962,594	95,894,923,927

# (3)注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

(里女は云計刀到にはる事項に関する注記)				
項目	当期 自 2024年 7月12日 至 2025年 1月14日			
1.有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券・地方債証券・特殊債券・社債券 移動平均法(買付約定後、最初の利払日までは個別法)に基づき、法令及び一般社			
2.デリバティブ等の評価基準及び評価	団法人投資信託協会規則に從い、時価評価しております。 為替予約取引			
方法	高自分的取引 為替予約の評価は、原則として、わが国における特定期間末日の対顧客先物売買相 場の仲値によって計算しております。			
3.その他財務諸表作成のための基礎と	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産計算規則」(平成12年総理府令第133号) 第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しており ます。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加え て、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に 対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で 円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨 建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益 とする計理処理を採用しております。 特定期間末日の取扱い 2025年 1月11日、その翌日及びその翌々日が休日のため、当特定期間末日は2025年 1月14日としております。このため、当特定期間は187日となっております。			

# (未適用の会計基準等に関する注記) 該当事項はありません。

# (重要な会計上の見積りに関する注記)

当特定期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが当特定期間の翌特定期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。

# (貸借対照表に関する注記)

	自日が飛びに戻する圧む /				
	前期			当期	
	2024年 7月11日現在			2025年 1月14日現在	
1.	特定期間の末日における受益権の総数		1.	特定期間の末日における受益権の総	数
	185,101,993,	667□			169,557,302,579□
2.	元本の欠損		2.	元本の欠損	
	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回る場合 けるその差額	こお		貸借対照表上の純資産額が元本総額 けるその差額	を下回る場合にお
	95,435,962,				95,894,923,927円
3.	特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額	į	3.	特定期間の末日における1単位当たり	)の純資産の額
	一口当たり純資産額 0.4	844円		一口当たり純資産額	0.4344円
	(一万口当たり純資産額) (4,8	44円)		(一万口当たり純資産額)	(4,344円)

# (損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	前期 自 2024年 1月12日 至 2024年 7月11日	当期 自 2024年 7月12日 至 2025年 1月14日
1.信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は 一部を委託するために要する費用として委託 者報酬の中から支弁している額	委託者報酬のうち、販売会社 へ支払う手数料を除いた額の 100分の96相当額を支払って おります。	同左
2.分配金の計算過程	2024年 1月12日から 2024年 2月13日まで の計算期間	2024年 7月12日から 2024年 8月13日まで の計算期間
費用控除後の配当等収益額 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売 買等損益額	232,643,874円	215,436,381円 - 円

収益調整金額 4,187,718,106円 3,796,661,730円 分配準備積立金額 12,385,520円 97,988,682円 当ファンドの分配対象収益額 4,432,747,500円 4,110,086,793円 当ファンドの期末残存口数 200,874,751,588 183,025,380,890□ 1万口当たり収益分配対象額 220.66円 224.55円 1万口当たり分配金額 12.00円 12.00円 収益分配金金額 241,049,701円 219,630,457円 2024年 2月14日から 2024年 8月14日から 2024年 3月11日まで 2024年 9月11日まで の計算期間 の計算期間 費用控除後の配当等収益額 182,939,443円 212,451,151円 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売 - 円 - 円 買等損益額 収益調整金額 4,124,316,003円 3,730,367,133円 分配準備積立金額 3,918,164円 92,132,314円 当ファンドの分配対象収益額 4,340,685,318円 4,005,438,890円 当ファンドの期末残存口数 197,832,266,580 🗆 179,827,834,957 1万口当たり収益分配対象額 219.41円 222.73円 1万口当たり分配金額 12.00円 12.00円 収益分配金金額 237,398,719円 215,793,401円 2024年 3月12日から 2024年 9月12日から 2024年 4月11日まで 2024年10月11日まで の計算期間 の計算期間 費用控除後の配当等収益額 249,336,864円 230,969,737円 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売 - 円 - 円 買等損益額 収益調整金額 4,038,920,803円 3,687,940,477円 分配準備積立金額 58,554,379円 当ファンドの分配対象収益額 4,288,257,667円 3,977,464,593円 当ファンドの期末残存口数 194,728,004,232 177,777,209,708 🗆 1万口当たり収益分配対象額 220.21円 223.72円 1万口当たり分配金額 12.00円 12.00円 収益分配金金額 233,673,605円 213,332,651円 2024年 4月12日から 2024年10月12日から 2024年 5月13日まで 2024年11月11日まで の計算期間 の計算期間 費用控除後の配当等収益額 265,373,340円 205,098,745円 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売 - 円 - 円 買等損益額 収益調整金額 3,982,941,683円 3,643,396,325円 分配準備積立金額 15,434,323円 75,236,061円 当ファンドの分配対象収益額 4,263,749,346円 3,923,731,131円 当ファンドの期末残存口数 192,021,494,076 175,626,883,536 1万口当たり収益分配対象額 222.03円 223.41円 1万口当たり分配金額 12.00円 12.00円 収益分配金金額 230,425,792円 210,752,260円 2024年 5月14日から 2024年11月12日から 2024年 6月11日までの計算期間 2024年12月11日まで の計算期間 費用控除後の配当等収益額 239,080,362円 186,732,359円 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売 買等損益額 収益調整金額 3,902,390,680円 3,593,481,143円 68,603,054円 分配準備積立金額 49,355,348円 当ファンドの分配対象収益額 4,190,826,390円 3,848,816,556円 当ファンドの期末残存口数 188,136,893,196口 173,217,539,691 1万口当たり収益分配対象額 222.74円 222.19円 1万口当たり分配金額 12.00円 12.00円 収益分配金金額 225,764,271円 207,861,047円 2024年12月12日から 2024年 6月12日から 2024年 7月11日まで 2025年 1月14日まで の計算期間 の計算期間 費用控除後の配当等収益額 259,698,825円 208,745,556円 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売 - 円 - 円 買等損益額 収益調整金額 3,839,525,783円 3,517,734,272円 分配準備積立金額 61,635,792円 46,421,477円 当ファンドの分配対象収益額 4,160,860,400円 3,772,901,305円 当ファンドの期末残存口数 185,101,993,667□ 169,557,302,579 224.77円 1万口当たり収益分配対象額 222.50円 1万口当たり分配金額 12.00円 12.00円 収益分配金金額 222,122,392円 203,468,763円

# (金融商品に関する注記) 全融商品の状況に関する事項

<u>金融商品の状況に関する事項 </u>				
項目	前期 自 2024年 1月12日 至 2024年 7月11日	当期 自 2024年 7月12日 至 2025年 1月14日		
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	同左		
2.金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当は、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、一では、中では、一では、一では、一では、一では、一では、一では、一では、一では、一では、一	同左		
3.金融商品に係るリスク管理体制	委託会社では、運用リスク管理に関する 委員会において、以下の事項について審 議を行い、運用本部に必要な勧告または 是正を命じます。 1.パフォーマンス評価 2.リスク分析 3.運用ガイドラインチェック 4.その他運用リスクに関する事項に関す る報告や承認等	同左		
いての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引に対してあり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。	同左		

全融商品の時価等に関する事項

- 金融商品の時価寺に関する事項		
項目	前期 自 2024年 1月12日 至 2024年 7月11日	当期 自 2024年 7月12日 至 2025年 1月14日
1.貸借対照表計上額、時価及び差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照 表計上額と時価との差額はありません。	同左
	券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 派生商品評価勘定 デリバティブ取引については、(その他の注記)の3 デリバティブ取引関係に記載しております。	国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券 券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(関連当事者との取引に関する注記) 該当事項はありません。

(重要な後発事象に関する注記) 該当事項はありません。

(その他の注記) 1 元本の移動

項目	前期 自 2024年 1月12日 至 2024年 7月14日	当期 自 2024年 7月12日 至 2005年 4月44日
	至 2024年 7月11日	至 2025年 1月14日
期首元本額	204,186,098,511円	185,101,993,667円
期中追加設定元本額	485,258,414円	724,234,401円
期中解約元本額	19.569.363.258円	16.268.925.489円

### 2 有価証券関係 売買目的有価証券

種類	前期 2024年 7月11日現在	当期 2025年 1月14日現在
	当期の損益に含まれた評価差額(円)	当期の損益に含まれた評価差額(円)
国債証券	80,705,666	543,772,937
地方債証券	3,775,485	479,866,092
特殊債券	4,750,105	28,030,083
社債券	24,055,874	350,745,531
合計	105,736,160	1,402,414,643

# 3 デリバティブ取引関係 取引の時価等に関する事項

#### 通貨関連

		前期 202	4年 7月11日現在			当期 202	5年 1月14日現在	
種類	契約額等(F	円)			契約額等 (	円)		
127%		うち1年 超	時価(円)	評価損益(円)		うち1年 超	時価(円)	評価損益(円)
市場取引以外の取引								
為替予約取引								
売建	584,734,257	-	587,977,313	3,243,056	-	-	-	-
オーストラリアド ル	584,734,257	-	587,977,313	3,243,056	-	-	-	-
合計	584,734,257	-	587,977,313	3,243,056	-	-	-	-

#### (注)時価の算定方法

# 為替予約取引について

1.特定期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

特定期間末日において為替予約の受渡日(以下「当該日」という。)の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合 は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

特定期間末日において当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・特定期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・特定期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客 先物相場の仲値を用いております。
- 2.特定期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、特定期間末日の対顧客相場の仲値で評価しております。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

# (4)附属明細表

#### 第 1 有価証券明細表 株式

該当事項はありません。

### 株式以外の有価証券

# 次表の通りです。

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
国債証券		AUSTRALIAN GOVERNMENT-3.0%- 33/11/21	8,000,000.00	7,087,867.60	
		AUSTRALIAN GOVT-1.0%-30/12/21	2,000,000.00	1,656,545.30	
		AUSTRALIAN GOVT-1.25%-32/05/21	7,200,000.00	5,761,743.40	

	_		-	有仙証券届出書(内国投資
		AUSTRALIAN GOVT-1.75%-32/11/21	8,200,000.00	6,714,041.83
		AUSTRALIAN GOVT-4.5%-33/04/21	7,640,000.00	7,623,468.95
		AUSTRALIAN GOVT-3.75%-34/05/21	6,400,000.00	5,989,847.55
		AUSTRALIAN GOVT-3.5%-34/12/21	8,680,000.00	7,906,367.05
	AUSTRALIAN GOVT-2.75%-35/06/21	25,450,000.00	21,459,590.91	
	AUSTRALIAN GOVT-3.75%-37/04/21	18,100,000.00	16,432,553.24	
		AUSTRALIAN GOVT-3.25%-39/06/21	5,950,000.00	4,977,435.90
		AUSTRALIAN GOVT-2.75%-41/05/21	22,870,000.00	17,337,098.63
		AUSTRALIAN GOVT-3.0%-47/03/21	10,730,000.00	7,792,006.13
		AUSTRALIAN GOVT-1.75%-51/06/21	15,170,000.00	7,796,198.25
		AUSTRALIAN GOVT-4.75%-54/06/21	400,000.00	378,264.26
	小計	銘柄数:14	146,790,000.00	118,913,029.00
				(11,585,696,415)
		組入時価比率:15.7%		16.0%
	小計			11,585,696,415
				(11,585,696,415)
方債証券	オーストラリアドル	AUCKLAND COUNCIL-3.5%-26/03/09	1,000,000.00	986,486.89
		AUCKLAND COUNCIL-2.9%-27/09/16	1,000,000.00	952,910.00
		AUST CAPITAL TERRITORY-2.25%- 29/05/22	500,000.00	455,190.00
		AUST CAPITAL TERRITORY-5.25%- 33/10/24	900,000.00	896,166.00
		AUST CAPITAL TERRITORY-5.25%- 36/10/23	1,200,000.00	1,161,864.00
		KOMMUNEKREDIT-3.55%-28/07/21	3,000,000.00	2,874,660.00
		MANITOBA PROVANCE-3.5%-28/08/22	1,500,000.00	1,436,685.00
		NEW S WALES TREAS CORP-3.0%- 30/02/20	7,700,000.00	7,149,782.48
		NEW S WALES TREASURY-3.0%- 29/04/20	3,800,000.00	3,588,646.50
		NEW S WALES TREASURY-2.0%- 31/03/20	17,900,000.00	15,266,509.57
		NEW S WALES TREASURY-1.5%- 32/02/20	7,000,000.00	5,566,554.91
		NEW S WALES TREASURY-2.0%- 33/03/08	9,000,000.00	7,137,910.26
		NEW S WALES TREASURY-1.75%- 34/03/20	14,800,000.00	11,024,180.78
		NEW S WALES TREASURY-4.75%- 35/02/20	7,100,000.00	6,761,483.50
		NEW S WALES TREASURY-4.75%- 37/02/20	1,400,000.00	1,298,259.76
		NORTHERN TERRITORY TREAS-2.0%- 29/05/21	3,000,000.00	2,691,454.59
		NORTHERN TERRITORY TREAS-3.5%- 30/05/21	3,000,000.00	2,817,424.20
		NORTHERN TERRITORY TREAS-2.0%- 31/04/21	2,000,000.00	1,678,698.60
		NORTHERN TERRITORY TREAS-2.5%- 32/05/21	1,000,000.00	835,388.83
		NORTHERN TERRITORY TREAS-3.75%- 33/04/21	7,500,000.00	6,656,276.92

		QUEENSLAND TREASURY-2.5%-29/03/06	3,000,000.00	2,781,118.92
		QUEENSLAND TREASURY-3.25%- 29/08/21	6,720,000.00	6,371,520.55
		QUEENSLAND TREASURY-3.5%-30/08/21	7,000,000.00	6,601,644.42
		QUEENSLAND TREASURY-1.75%- 31/08/21	7,000,000.00	5,782,648.06
		QUEENSLAND TREASURY-1.5%-32/03/02	5,500,000.00	4,356,595.92
		QUEENSLAND TREASURY-1.5%-32/08/20	4,000,000.00	3,112,067.16
		QUEENSLAND TREASURY-2.0%-33/08/22	2,000,000.00	1,556,958.58
		QUEENSLAND TREASURY-1.75%- 34/07/20	9,500,000.00	6,962,663.33
		QUEENSLAND TREASURY-4.5%-35/08/22	7,200,000.00	6,650,923.74
		SOUTH AUST GOVT FIN-2.75%- 30/05/24	1,000,000.00	911,295.51
		SOUTH AUST GOVT FIN-1.75%- 32/05/24	4,000,000.00	3,205,994.64
		SOUTH AUST GOVT FIN-1.75%- 34/05/24	5,000,000.00	3,690,425.80
		TASMANIAN PUBLIC FINANCE-2.0%- 30/01/24	700,000.00	617,688.22
		TASMANIAN PUBLIC FINANCE-4.0%- 34/01/20	900,000.00	812,619.47
		TREASURY CORP VICTORIA-2.5%- 29/10/22	6,000,000.00	5,466,250.14
		TREASURY CORP VICTORIA-1.5%- 30/11/20	7,500,000.00	6,253,593.82
		TREASURY CORP VICTORIA-1.5%- 31/09/10	6,200,000.00	4,995,263.80
		TREASURY CORP VICTORIA-4.25%- 32/12/20	8,000,000.00	7,544,659.92
		TREASURY CORP VICTORIA-2.25%- 33/09/15	10,700,000.00	8,451,161.84
		TREASURY CORP VICTORIA-2.25%- 34/11/20	12,900,000.00	9,767,055.94
		TREASURY CORP VICTORIA-2.0%- 35/09/17	16,000,000.00	11,442,055.50
		WESTERN AUST TREAS CORP-2.75%- 29/07/24	2,500,000.00	2,325,717.90
		WESTERN AUST TREAS CORP-1.75%- 31/10/22	3,500,000.00	2,889,501.37
		WESTERN AUST TREAS CORP-4.25%- 33/07/20	2,500,000.00	2,367,806.95
		WESTERN AUST TREAS CORP-2.0%- 34/10/24	1,700,000.00	1,283,196.24
	小計	銘柄数:45	235,320,000.00	197,436,960.53
		組入時価比率:26.1%		(19,236,283,064) 26.6%
	小計			19,236,283,064
				(19,236,283,064)
特殊債券	オーストラリアド ル	ASIAN DEVELOPMENT BANK-4.5%- 30/06/20	2,000,000.00	1,974,640.00
		CORP ANDINA DE FOMENTO-4.5%- 25/06/05	7,000,000.00	6,978,812.96
		CORP ANDINA DE FOMENTO-4.5%- 27/09/14	3,000,000.00	2,934,300.00
		EUROF IMA-3.35%-29/05/21	2,000,000.00	1,886,160.00

				1911年11日   日本日本   日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日	貝旧品
		EUROPEAN INVESTMENT BANK-4.55%- 33/06/02	1,900,000.00	1,839,656.00	
		INTER-AMERICAN DEVEL BK-3.85%- 29/01/24	3,000,000.00	2,925,570.00	
		INTER-AMERICAN DEVEL BK-4.7%- 30/10/03	500,000.00	499,710.00	
		INTL FINANCE CORP-3.15%-29/06/26	6,000,000.00	5,662,980.00	
		INTL FINANCE CORP-1.25%-31/02/06	2,500,000.00	2,035,275.00	
		OLMPS 2024-2 A1S-5.172%-56/07/10	913,871.14	913,788.89	
	小計	銘柄数:10	28,813,871.14	27,650,892.85	
				(2,694,026,490)	
		組入時価比率:3.7%		3.7%	
	小計			2,694,026,490	
				(2,694,026,490)	
社債券	オーストラリアドル	AGI FINANCE PTY LTD-2.119%- 27/06/24	2,000,000.00	1,867,118.44	
		AGI FINANCE PTY LTD-1.815%- 28/11/23	6,000,000.00	5,285,075.40	
		AGI FINANCE PTY LTD-6.109%- 30/06/28	1,700,000.00	1,747,466.55	
		AIR NEW ZEALAND LTD-5.7%-26/05/25	1,500,000.00	1,503,369.46	
		AIRSERVICES AUSTRALIA-2.2%- 30/05/15	900,000.00	783,909.00	
		AIRSERVICES AUSTRALIA-5.0%- 31/05/15	500,000.00	498,294.91	
		AIRSERVICES AUSTRALIA-6.0%- 32/11/15	3,200,000.00	3,349,202.11	
		APPF COMMERCIAL FINAN-3.6%- 31/11/11	2,500,000.00	2,112,587.25	
		ARC INFRASTRUCTURE WA-6.018%- 31/05/27	900,000.00	906,093.90	
		AT&T INC-4.1%-26/01/19	1,000,000.00	992,360.00	
		AUCKLAND INTL AIRPORT-6.482%- 33/11/16	1,500,000.00	1,563,967.23	
		AURIZON FINANCE PTY LTD-3.0%- 28/03/09	2,500,000.00	2,329,378.05	
		AURIZON NETWORK PTY LTD-2.9%- 30/09/02	3,500,000.00	3,011,059.27	
		AURIZON NETWORK PTY LTD-6.2%- 33/12/05	700,000.00	694,768.98	
		AUSGRID FINANCE PTY LTD-1.814%- 27/02/05	6,600,000.00	6,205,371.94	
		AUSNET SERVICES HOLDINGS-4.4%- 27/08/16	2,500,000.00	2,462,125.00	
		AUSNET SERVICES HOLDINGS-4.301%- 28/03/30	700,000.00	683,069.04	
		AUSNET SERVICES HOLDINGS-4.2%- 28/08/21	5,500,000.00	5,318,060.00	
		AUSNET SERVICES HOLDINGS-6.134%- 33/05/31	900,000.00	918,977.67	
		AUST & NZ BANKING FRN-5.906%- 32/08/12	1,300,000.00	1,321,296.21	
		AUST & NZ BANKING FRN-6.405%- 34/09/20	1,600,000.00	1,654,167.55	

		日叫叫刀田山自(八百汉)	ᅥᄗᄗᅜ
AUST & NZ BANKING GROUP-5.35%- 27/11/04	900,000.00	914,706.00	
AUST & NZ BANKING GROUP-4.95%- 28/09/11	800,000.00	802,648.00	
AUSTRALIA PACIFIC AIRPOR-3.75%- 26/11/04	1,000,000.00	978,310.00	
AUSTRALIA PACIFIC AIRPOR-3.763%- 31/11/25	3,800,000.00	3,401,557.08	
AUSTRALIA PACIFIC AIRPOR-5.598%- 32/11/01	500,000.00	494,583.16	
AUSTRALIAN ENERGY MARKET-5.354%- 28/12/06	500,000.00	504,555.00	
AUSTRALIAN GAS LIGHT-2.149%- 28/04/28	5,400,000.00	4,896,994.26	
AUSTRALIAN GAS LIGHT-2.82%- 31/04/28	1,000,000.00	849,108.62	
AUSTRALIAN POSTAL CORP-4.992%- 27/12/08	1,000,000.00	1,002,205.14	
AUSTRALIAN POSTAL CORP-4.764%- 29/05/22	500,000.00	491,781.97	
AUSTRALIAN UNITY HEALTHC-6.781%- 29/11/08	1,500,000.00	1,555,690.51	
BANCO SANTANDER SA-5.678%- 28/03/09	1,900,000.00	1,916,682.00	
BANCO SANTANDER SA-5.796%- 29/01/23	1,400,000.00	1,418,354.00	
BANK OF AMERICA CORP-5.815%- 28/10/30	500,000.00	515,175.00	
BANK OF MONTREAL-5.338%-29/06/27	800,000.00	800,496.00	
BANK OF QUEENSLAND-4.7%-27/01/27	1,100,000.00	1,094,533.00	
BENDIGO AND ADELAIDE BK-5.1%- 28/06/16	1,100,000.00	1,105,654.00	
BNG BANK NV-3.3%-29/04/26	5,500,000.00	5,212,460.00	
BNG BANK NV-1.6%-30/11/27	1,000,000.00	831,640.00	
BNG BANK NV-1.55%-32/02/19	2,000,000.00	1,580,800.00	
BPCE SA FRN-6.342%-28/09/29	1,500,000.00	1,521,943.51	
BRISBANE AIRPORT-3.1%-26/06/30	2,500,000.00	2,440,187.65	
BWP TRUST-3.3%-26/04/10	1,100,000.00	1,078,432.82	
BWP TRUST-2.2%-28/03/24	750,000.00	682,550.36	
CHARTER HALL EXCH FIN-2.317%- 30/09/25	3,000,000.00	2,512,197.57	
CHARTER HALL LWR LTD-2.086%- 28/03/03	1,600,000.00	1,441,860.86	
CHARTER HALL LWR LTD-2.656%- 29/12/17	2,900,000.00	2,525,168.30	
CHARTER HALL LWR LTD-2.787%- 31/03/03	1,500,000.00	1,256,481.36	
CHC FINANCE PTY LTD-3.092%- 31/04/21	3,400,000.00	2,862,331.07	
CHORUS LTD-5.974%-30/09/18	500,000.00	508,632.46	
CIP FUNDING PTY LTD-3.026%- 27/12/16	1,400,000.00	1,313,141.59	
CLIFFORD CAPITAL PTE LTD-4.753%- 28/08/31	750,000.00	754,327.50	
CNH CAPITAL AUS-5.8%-26/07/13	2,200,000.00	2,221,868.00	
COLES GROUP TREASURY-2.2%-	4,000,000.00	3,816,993.32	

26/11/06	ı	有価証券届出書(内国投資信 
COLES GROUP TREASURY-2.1%-	1,400,000.00	1,174,311.76
30/08/27 COMMONWEALTH BANK AU FRN-4.946%- 32/04/14	1,400,000.00	1,393,330.55
COMMONWEALTH BANK AU FRN-6.86%- 32/11/09	1,000,000.00	1,042,200.77
COMMONWEALTH BANK AU FRN-6.704%- 38/03/15	1,000,000.00	1,052,526.65
COMMONWEALTH BANK AUST-3.25%- 26/11/17	2,300,000.00	2,244,179.00
COMMONWEALTH BANK AUST-5.0%- 28/01/13	500,000.00	503,375.00
COMMONWEALTH BANK AUST-4.9%- 28/08/17	700,000.00	701,890.00
COMPUTERSHARE US INC-3.147%- 27/11/30	1,300,000.00	1,219,126.33
CONNECTEAST FINANCE PTY-3.4%- 26/03/25	1,000,000.00	981,124.84
CONNECTEAST FINANCE PTY-5.6%- 31/06/27	700,000.00	699,221.32
CONTACT ENERGY LTD-6.398%- 30/11/21	1,100,000.00	1,145,828.15
CPIF FINANCE PTY LTD-2.485%- 30/10/28	3,600,000.00	3,010,154.68
CPPIB CAPITAL INC-4.2%-28/05/02	1,500,000.00	1,486,140.00
CPPIB CAPITAL INC-4.4%-29/01/15	500,000.00	495,550.00
CPPIB CAPITAL INC-5.2%-34/03/04	1,000,000.00	995,020.00
CREDIT AGRICOLE SA-5.364%- 28/06/01	750,000.00	756,270.00
DBNGP FINANCE CO PTY-4.225%- 25/05/28	4,000,000.00	3,983,465.96
DEXUS FINANCE PTY LTD-4.25%- 27/05/11	4,500,000.00	4,400,305.02
DEXUS FINANCE PTY LTD-2.5%- 29/10/17	5,100,000.00	4,428,186.07
DEXUS FINANCE PTY LTD-3.0%- 32/02/03	3,000,000.00	2,477,663.22
DEXUS WHOLESALE PROPERTY-4.75%- 25/06/16	6,500,000.00	6,493,388.59
DOWNER GROUP FINANCE PTY-3.7%- 26/04/29	2,000,000.00	1,959,668.34
DWPF FINANCE PTY LTD-1.9%- 28/08/04	2,100,000.00	1,860,127.81
DWPF FINANCE PTY LTD-2.6%- 32/08/04	1,500,000.00	1,182,935.35
EDITH COWAN UNIVERSITY-3.0%- 29/04/11	500,000.00	457,620.36
ELECTRANET PTY LTD I/L-2.474%- 28/12/15	1,300,000.00	1,165,115.88
ETSA UTILITIES FINANCE-5.634%- 32/12/03	1,000,000.00	1,004,523.66
EXPORT FIN & INS-1.465%-31/08/18	1,000,000.00	817,390.00
FONTERRA COOPERATIVE GRO-3.75%- 26/06/16	2,500,000.00	2,465,450.00
FONTERRA COOPERATIVE GRO-4.0%- 27/11/02	6,000,000.00	5,854,080.00
GAIF BOND ISSUER P/L-2.584%- 27/11/18	5,400,000.00	5,046,971.43

		1月11日11日   10日日日   10日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	貝店司
GAIF BOND ISSUER P/L-1.9%- 28/12/14	5,300,000.00	4,656,845.31	
GENERAL MOTORS FINL CO-1.55%- 25/09/02	3,000,000.00	2,932,091.13	
GENERAL PROPERTY TRUST-3.657%- 26/08/24	5,000,000.00	4,887,343.20	
GENERAL PROPERTY TRUST-2.849%- 32/02/20	2,800,000.00	2,282,603.00	
GPT WHL OFFICE FD NO1-3.222%- 31/11/05	2,700,000.00	2,281,026.58	
GPT WHOLESALE SHOP CENTR-4.49%- 28/02/28	4,500,000.00	4,371,752.43	
GTA FINANCE CO PTY LTD-2.2%- 27/08/26	1,000,000.00	918,509.07	
HEATHROW FUNDING LTD-4.15%- 28/10/11	3,000,000.00	2,722,389.60	
HSBC LTD SYDNEY-5.1%-28/03/03	700,000.00	705,089.00	
ICPF FINANCE PTY LTD-4.25%- 27/04/21	4,500,000.00	4,385,610.00	
ICPF FINANCE PTY LTD-2.725%- 30/10/11	5,500,000.00	4,641,786.32	
INCITEC PIVOT LTD-4.3%-26/03/18	3,200,000.00	3,165,269.95	
ING BANK (AUSTRALIA) LTD-4.837%- 27/03/22	500,000.00	500,410.00	
INSURANCE AUSTRALIA FRN-6.810%- 45/06/15	1,000,000.00	1,005,634.83	
JOHN DEERE FINANCIAL LTD-5.05%- 29/06/28	500,000.00	500,640.00	
JP MORGAN CHASE & CO-4.5%- 26/01/30	5,000,000.00	4,973,050.00	
KFW-4.2%-29/02/08	2,400,000.00	2,374,200.00	
KIWIBANK LTD-4.25%-27/10/27	2,900,000.00	2,832,575.00	
KOMMUNALBANKEN AS-2.5%-32/08/03	1,500,000.00	1,256,430.00	
LA TROBE UNIVERSITY-5.311%- 30/08/08	500,000.00	502,799.61	
LENDLEASE FINANCE LTD-3.7%- 31/03/31	1,500,000.00	1,251,927.91	
LIBERTY FINANCIAL PT FRN-6.916%- 25/03/17	2,500,000.00	2,505,075.00	
LIBERTY FINANCIAL PT FRN-6.965%- 26/05/25	1,900,000.00	1,925,574.00	
LIBERTY FINANCIAL PT FRN-8.260%- 28/03/16	1,000,000.00	1,052,940.00	
LLOYDS BANK PLC-4.0%-25/03/07	3,000,000.00	2,995,808.16	
LLOYDS BANKING GROUP FRN-5.687%- 30/03/06	500,000.00	503,959.13	
LLOYDS BANKING GROUP FRN-6.608%- 34/08/29	800,000.00	810,335.16	
LLOYDS BANKING GROUP PLC-5.802%- 29/03/17	800,000.00	811,138.76	
LONSDALE FINANCE PTY LTD-3.9%- 25/10/15	4,000,000.00	3,970,517.24	
LONSDALE FINANCE PTY LTD-2.45%- 26/11/20	1,200,000.00	1,146,563.78	
LONSDALE FINANCE PTY LTD-2.1%- 27/10/15	5,300,000.00	4,884,576.67	
MACQUARIE BANK FRN-6.016%- 31/06/17	1,250,000.00	1,257,688.40	

			貝旧甙
MACQUARIE BANK LTD FRN-6.082%- 32/06/07	1,600,000.00	1,623,608.92	
MACQUARIE BANK LTD FRN-5.603%- 35/02/20	500,000.00	495,473.04	
MACQUARIE UNIVERSITY-3.5%- 28/09/07	3,000,000.00	2,839,160.67	
MACQUARIE UNIVERSITY-2.25%- 30/05/22	5,000,000.00	4,294,741.45	
MERCURY NZ LTD-2.918%-28/11/17	600,000.00	554,688.00	
MET LIFE GLOB FUNDING I-5.4%- 29/07/11	600,000.00	606,870.00	
METLIFE GLOB FUNDING I-4.0%- 27/07/13	3,000,000.00	2,936,880.00	
MIRVAC GROUP FINANCE LTD-2.6%- 29/09/18	2,700,000.00	2,385,169.57	
MITSUBISHI HC CAP UK PLC-5.805%- 26/12/07	900,000.00	911,232.00	
MIZUHO FINANCIAL GRO FRN-6.025%- 29/08/28	1,500,000.00	1,548,388.26	
MONASH UNIVERSITY-4.05%-29/04/06	1,200,000.00	1,152,473.43	
NATIONAL AUSTRALIA B FRN-6.126%- 30/11/18	2,000,000.00	2,015,990.60	
NATIONAL AUSTRALIA B FRN-6.322%- 32/08/03	1,200,000.00	1,232,048.80	
NATIONAL AUSTRALIA B FRN-6.163%- 33/03/09	500,000.00	512,153.19	
NATIONAL AUSTRALIA B FRN-6.342%- 39/06/06	1,000,000.00	1,023,872.17	
NATIONAL AUSTRALIA BANK-4.4%- 28/05/12	500,000.00	493,995.00	
NATIONL HOUSING FIN INVT-1.52%- 30/05/27	1,000,000.00	853,870.00	
NATIONWIDE BLDG SOCIETY-5.35%- 28/03/15	2,000,000.00	2,007,580.00	
NATWEST MARKETS PLC-5.055%- 25/08/12	500,000.00	500,795.00	
NATWEST MARKETS PLC-5.899%- 28/08/23	2,800,000.00	2,862,412.00	
NBN CO LTD-1.0%-25/12/03	2,000,000.00	1,937,321.16	
NBN CO LTD-2.15%-28/06/02	1,500,000.00	1,372,537.86	
NBN CO LTD-5.2%-28/08/25	500,000.00	505,153.46	
NBN CO LTD-2.2%-30/12/16	4,000,000.00	3,399,600.28	
NBN CO LTD-5.0%-31/08/28	1,700,000.00	1,677,726.53	
NEDER WATERSCHAPSBANK-3.3%- 29/05/02	500,000.00	472,610.00	
NESTLE CAPITAL CORP-5.25%- 34/04/04	1,000,000.00	986,442.36	
NETWORK FINANCE CO PTY L-2.25%- 26/11/11	2,200,000.00	2,095,278.39	
NEW YORK LIFE GLOBAL FDG-5.35%- 28/09/19	2,000,000.00	2,023,580.00	
NEW YORK LIFE GLOBAL FDG-5.1%- 29/07/24	1,800,000.00	1,799,946.00	
NORFINA LTD-2.5%-27/01/25	500,000.00	478,950.00	
NORFINA LTD FRN-5.352%-29/09/27	700,000.00	700,973.00	
NSW ELECTRICITY NETWORKS-2.732%- 29/04/23	500,000.00	449,789.87	

		日叫叫刀田山白(八百汉	只旧叫
NSW ELECTRICITY NETWORKS-5.77%- 30/05/29	1,350,000.00	1,367,648.82	
NSW PORTS FINANCE CO PTY-5.042%- 31/09/19	900,000.00	879,483.46	
OPTUS FINANCE PTY LTD-1.6%- 25/07/01	3,300,000.00	3,250,483.56	
OPTUS FINANCE PTY LTD-2.5%- 30/07/01	2,000,000.00	1,717,840.00	
ORIX AUSTRALIA CORP LTD-5.277%- 27/03/04	900,000.00	902,645.12	
ORIX AUSTRALIA CORP LTD-4.987%- 28/02/28	900,000.00	893,222.31	
PSP CAPITAL INC-4.5%-31/09/05	500,000.00	485,730.00	
QIC SHOPPING CENTRE FUND-2.0%- 25/08/15	6,300,000.00	6,196,366.13	
QIC SHOPPING CENTRE FUND-5.8%- 31/05/21	1,300,000.00	1,309,314.29	
QPH FINANCE CO PTY LTD-2.3%- 27/07/29	1,100,000.00	1,027,144.18	
QPH FINANCE CO PTY LTD-2.85%- 31/01/29	2,000,000.00	1,717,377.22	
QUBE TREASURY PTY LTD-5.6%- 31/12/11	500,000.00	492,612.95	
RABOBANK NEDERLAND(AUST)-5.051%- 29/02/26	600,000.00	601,950.00	
RABOBANK NEDERLAND(AUST)-5.09%- 29/07/17	800,000.00	803,688.00	
REGION RETAIL TRUST-5.55%- 31/03/05	500,000.00	498,281.89	
REGISTRY FINANCE PTY LTD-5.472%- 31/12/19	1,500,000.00	1,496,482.23	
SGSP AUSTRALIA ASSETS-1.843%- 28/09/15	2,300,000.00	2,052,445.43	
SHINHAN BANK-1.183%-25/09/29	2,560,000.00	2,496,896.00	
SHOPPING CENTRES AUSTRAL-2.45%- 29/09/24	2,400,000.00	2,101,370.78	
SPARK FINANCE LTD-4.0%-27/10/20	5,000,000.00	4,867,600.00	
SPARK FINANCE LTD-2.6%-30/03/18	3,500,000.00	3,067,365.00	
STOCKLAND TRUST MGMNT-2.3%- 28/03/24	1,700,000.00	1,548,091.92	
STOCKLAND TRUST MGMNT-5.45%- 30/04/26	1,800,000.00	1,798,035.21	
STOCKLAND TRUST MGMNT-6.1%- 34/09/12	500,000.00	501,915.11	
SUNCORP GROUP LTD FRN-7.086%- 38/12/01	900,000.00	934,412.23	
SUNCORP-METWAY LTD-3.25%-26/08/24	8,000,000.00	7,823,600.00	
SUNCORP-METWAY LTD-5.45%-27/05/24	1,000,000.00	1,015,580.00	
SUNCORP-METWAY LTD-4.8%-27/12/14	2,400,000.00	2,397,816.00	
SUNCORP-METWAY LTD-5.2%-28/07/12	500,000.00	505,435.00	
SWEDISH EXPORT CREDIT-5.4%- 30/11/01	1,000,000.00	1,021,050.00	
TELSTRA CORP LTD-4.0%-27/04/19	2,000,000.00	1,969,180.00	
TELSTRA CORP LTD-4.9%-28/03/08	1,500,000.00	1,502,490.00	
TELSTRA GROUP LTD-5.25%-31/09/06	500,000.00	498,701.08	
TELSTRA GROUP LTD-5.65%-34/03/06	500,000.00	503,466.24	

SBI岡三アセットマネジメント株式会社(E12441) 有価証券届出書(内国投資信託受益証券)

TORONTO-DOMINION BANK-5.248%- 29/07/23	500,000.00	498,800.00
TRANSPOWER NEW ZEALAND L-4.977%- 28/11/29	600,000.00	602,286.00
TRANSURBAN QLD FINANCE-5.623%- 34/08/28	500,000.00	485,482.10
TRANSURBAN QUEENSLAND FI-6.35%- 30/05/02	500,000.00	518,588.65
TRANSURBAN QUEENSLAND FI-3.25%- 31/08/05	2,200,000.00	1,892,829.84
UBS AG AUSTRALIA-1.1%-26/02/26	1,000,000.00	961,490.00
UNITED ENERGY DISTRIBUTI-2.2%- 26/10/29	2,300,000.00	2,195,014.49
UNIVERSITY OF WOLLONGONG-1.746%- 28/12/15	1,000,000.00	882,014.30
VER FINCO PTY-2.4%-28/09/21	1,000,000.00	896,838.94
VERIZON COMMUNICATIONS-2.1%- 26/05/06	2,500,000.00	2,414,800.00
VERIZON COMMUNICATIONS-4.5%- 27/08/17	3,000,000.00	2,971,170.00
VERIZON COMMUNICATIONS-2.65%- 30/05/06	3,000,000.00	2,610,390.00
VERIZON COMMUNICATIONS-3.0%- 31/03/23	1,000,000.00	859,108.15
VICINITY CENTRES-2.6%-25/06/27	3,500,000.00	3,467,569.42
VICINITY CENTRES-4.0%-27/04/26	5,000,000.00	4,880,130.95
VICINITY CENTRES TRUST-4.927%- 28/06/02	1,400,000.00	1,386,122.73
VICTORIA POWER NETWORKS-5.057%- 29/03/14	700,000.00	695,474.03
VOLKSWAGEN FIN SERV AUST-1.4%- 25/08/25	1,700,000.00	1,661,716.00
NELLS FARGO & COMPANY-4.0%- 27/04/27	3,500,000.00	3,430,455.00
WESFARMERS LTD-1.941%-28/06/23	1,400,000.00	1,270,029.79
WESTCONNEX FINANCE CO PT-6.15%- 30/10/09	500,000.00	513,352.06
WESTCONNEX FINANCE CO PT-3.15%- 31/03/31	4,600,000.00	3,984,719.04
WESTERN SYDNEY UNI-1.606%- 27/12/08	1,100,000.00	1,003,146.12
WESTPAC BANKING CORP FRN-5.313%- 29/09/19	500,000.00	500,780.00
WESTPAC BANKING CORP FRN-5.941%- 31/01/29	3,200,000.00	3,225,222.30
WOOLWORTHS GROUP LTD-1.85%- 27/11/15	1,000,000.00	921,335.41
WOOLWORTHS GROUP LTD-2.8%- 30/05/20	1,200,000.00	1,054,416.00
WSO FINANCE PTY LTD-4.5%-27/09/30	4,000,000.00	3,962,174.32
銘柄数:214	419,110,000.00	397,775,149.96
		(38,755,232,860)
組入時価比率:52.6%		53.7%
		38,755,232,860
		, , , ,

小計

小計

合計

EDINET提出書類

SBI岡三アセットマネジメント株式会社(E12441)

有価証券届出書(内国投資信託受益証券)

(外貨建証券の邦貨換算額)

(72,271,238,829)

(注1)通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額(単位:円)であります。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表該当事項はありません。

# 【中間財務諸表】

- 1.当ファンドの中間財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)並びに同規則第284条及び同規則第307条の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。 なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- 2.当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第12期中間計算期間(2025年 1月21日から2025年 7月20日まで)の中間財務諸表について、東陽監査法人により中間監査を受けております。

# 【三重県応援・債券ファンド(1年決算型)】

# (1)【中間貸借対照表】

	(単位:円)
	第12期中間計算期間末
	(2025年 7月20日現在)
資産の部	
流動資産	
金銭信託	1,253,447
コール・ローン	8,557,676
投資信託受益証券	352,992,414
親投資信託受益証券	97,742,648
未収利息	319
流動資産合計	460,546,504
資産合計	460,546,504
負債の部	
流動負債	
未払受託者報酬	116,991
未払委託者報酬	3,070,890
その他未払費用	35,033
流動負債合計	3,222,914
負債合計	3,222,914
純資産の部	
元本等	
元本	* <sub>1</sub> 359,785,135
剰余金	
中間剰余金又は中間欠損金(	97,538,455
( 分配準備積立金 )	28,607,591
元本等合計	457,323,590
純資産合計	*2 457,323,590
負債純資産合計	460,546,504

# (2)【中間損益及び剰余金計算書】

	(単位:円)
	第12期中間計算期間 自 2025年 1月21日 至 2025年 7月20日
営業収益	
受取配当金	6,897,542
受取利息	23,855
有価証券売買等損益	7,399,775
営業収益合計	14,321,172
営業費用	
受託者報酬	116,991
委託者報酬	3,070,890
その他費用	35,033
営業費用合計	3,222,914
営業利益又は営業損失( )	11,098,258
経常利益又は経常損失()	11,098,258
中間純利益又は中間純損失( )	11,098,258
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解 約に伴う中間純損失金額の分配額( )	3,135,419
期首剰余金又は期首欠損金( )	118,568,551
剰余金増加額又は欠損金減少額	5,801,859
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少 額	5,801,859
剰余金減少額又は欠損金増加額	41,065,632
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加 額	41,065,632
分配金	
中間剰余金又は中間欠損金( )	97,538,455

# (3)【中間注記表】

/ 重亜か会計古針に係る重項に関する注記)

<u>( 重要な会計万針に係る事項に関する注記)</u>			
期 別項 目	第12期中間計算期間 自 2025年 1月21日 至 2025年 7月20日		
1.有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券		
	移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価に当たって は、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。		
	投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価に当たって は、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。		
	受取配当金 原則として、投資信託の分配落ち日に計上しております。		
	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。		

(中間貸借対照表に関する注記)

	第12期中間計算期間末 ( 2025年 7月20日現在 )	
*1.	当該中間計算期間の末日における受益権の総数	
		359,785,135□
*2.	当該中間計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
	1口当たりの純資産額	1.2711円
	(10,000口当たりの純資産額	12,711円)

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

第12期中間計算期間 自 2025年 1月21日 至 2025年 7月20日

該当事項はありません。

(金融商品に関する注記) 全融商品の時価に関する事項

_		は 第一回 日 リンドゴ 川 に	月90手児	
	·=		期	第12期中間計算期間末
ŀ	頃	目		(2025年 7月20日現在)
	1 .	中間貸借対照表額、	時価及び差額	中間貸借対照表上の金融商品は原則として全て時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
:	2.	時価の算定方法		時価の算定方法は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」に記載しております。この他、コール・ローン等は短期間で決済され、時価は帳簿価格と近似していることから、当該帳簿価格を時価としております。

( 重要な後発事象に関する注記 )

第12期中間計算期間 自 2025年 1月21日 至 2025年 7月20日
該当事項はありません。

# (その他の注記) 1.元本の移動

_1. 76年071夕到	
第12期中間 (2025年 7月	計算期間末 月20日現在)
投資信託財産に係る元本の状況	
期首元本額	506,436,339円
期中追加設定元本額	30,693,787円
期中一部解約元本額	177,344,991円

2.有価証券関係 該当事項はありません。

3. デリバティブ取引関係 該当事項はありません。

# (参考)

当ファンドは、「アジア・ニュージーランド債券マザーファンド」、「三重県関連債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象としております。中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託 受益証券」は、当該マザーファンドの受益証券です。

マザーファンドの経理状況は参考情報であり、監査証明の対象ではありません。

アジア・ニュージーランド債券マザーファンド

#### 貸借対照表

(単位:円)

			( <u>単位:円)</u>
期	別	注記番号	2025年 7月20日現在
科目		7	金額
資産の部			
流動資産			
預金			65,703,661
金銭信託			7,393,336
コール・ローン			50,476,599
国債証券			3,959,635,791
未収入金			90,869,927
未収利息			35,600,537
前払費用			16,972
流動資産合計			4,209,696,823
資産合計			4,209,696,823
負債の部			
流動負債			
未払金			147,634,032
流動負債合計			147,634,032
負債合計			147,634,032
純資産の部			
元本等			
元本		*1	1,824,384,768
剰余金			
剰余金又は欠損金( )			2,237,678,023
元本等合計			4,062,062,791
純資産合計		*2	4,062,062,791
負債純資産合計			4,209,696,823

#### 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

( <del>L</del> <del>Q</del> <del>G</del>	<u> </u>
期 別項 目	自 2025年 1月21日 至 2025年 7月20日
1.有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券
	個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価に当たっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額(ただし、売気配相場は使用しない)、又は価格情報会社の提供する価額で評価しております。ただし、償還日までの残存期間が1年以内の債券について、価格変動性が限定的で、償却原価法による評価が合理的であり、かつ受益者の利益を害しないと委託会社が判断した場合は、償却原価法によって評価しております。
算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算 原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算して おります。

期 別項 目	自 2025年 1月21日 至 2025年 7月20日
	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
	為替差損益 約定日基準で計上しております。
4.その他財務諸表作成のための基本と なる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条及び第61条に基づいております。

# (貸借対照表に関する注記)

	2025年 7月20日現在	
	2023年 7月20日現在	
*1.	当該計算期間の末日における受益権の総数	
		1,824,384,768□
*2.	当該計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
	1口当たりの純資産額	2.2265円
	(10,000口当たりの純資産額	22,265円)

(金融商品に関する注記) 金融商品の時価に関する事項

- 立版回印の时間に対する手項	
期 月 月	2025年 7月20日現在
1.貸借対照表額、時価及び差額	貸借対照表上の金融商品は原則として全て時価で評価しているため、貸借対照表計 上額と時価との差額はありません。
2.時価の算定方法	時価の算定方法は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」に記載しております。この他、コール・ローン等は短期間で決済され、時価は帳簿価格と近似していることから、当該帳簿価格を時価としております。

# (その他の注記) 1元本の移動

1. 几个0/16到	
2025年 7月20日現在	
投資信託財産に係る元本の状況	
期首	2025年 1月21日
期首元本額	2,007,387,463円
期首より2025年 7月20日までの追加設定元本額	7,177,377円
期首より2025年 7月20日までの一部解約元本額	190,180,072円
期末元本額	1,824,384,768円
2025年 7月20日現在の元本の内訳(*)	
アジア・オセアニア債券オープン(毎月決算型)	1,276,969,573円
三重県応援・債券ファンド(毎月決算型)	219,749,674円
アジア・オセアニア債券オープン (1年決算型)	296,696,965円
三重県応援・債券ファンド (1年決算型)	30,968,556円

<sup>\*</sup> は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託毎の元本額

- 2.有価証券関係 該当事項はありません。
- 3. デリバティブ取引関係 該当事項はありません。

# 三重県関連債券マザーファンド

# 貸借対照表

(単位・円)

			(単位:円 <u>)</u>
	期別	注記番号	2025年 7月20日現在
科目		5	金額
資産の部			
流動資産			
金銭信託			336,596

				1
	期	別	注記番号	2025年 7月20日現在
科目			7	金額
コール・ローン				2,298,047
地方債証券				189,664,000
未収利息				293,854
流動資産合計				192,592,497
資産合計				192,592,497
負債の部				
流動負債				
流動負債合計				-
負債合計				-
純資産の部				
元本等				
元本			*1	184,297,495
剰余金				
剰余金又は欠損金( )				8,295,002
元本等合計				192,592,497
純資産合計			*2	192,592,497
負債純資産合計				192,592,497

# 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

_( 里女は云前刀町にぶる事項にぼりる江心 /		
期別項目	自 2025年 1月21日 至 2025年 7月20日	
	地方債証券 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価に当たっては、金 融商品取引業者、銀行等の提示する価額(ただし、売気配相場は使用しない)、又 は価格情報会社の提供する価額で評価しております。ただし、償還日までの残存期 間が1年以内の債券について、価格変動性が限定的で、償却原価法による評価が合 理的であり、かつ受益者の利益を害しないと委託会社が判断した場合は、償却原価 法によって評価しております。	
	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。	

# (貸借対昭夷に関する注記)

<u>(</u> )	『借灯照表に関 9 る注記)	
	2025年 7月20日現在	
*1.	当該計算期間の末日における受益権の総数	
		184,297,495□
*2.	当該計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
	1口当たりの純資産額	1.0450円
	(10,000口当たりの純資産額	10,450円)

# (金融商品に関する注記) 金融商品の時価に関する事項

項 目	期 另	2025年 7月20日現在
1.貸借対照表額、時価及び差額		貸借対照表上の金融商品は原則として全て時価で評価しているため、貸借対照表計 上額と時価との差額はありません。
2.時価の算定方法		時価の算定方法は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」に記載しております。この他、コール・ローン等は短期間で決済され、時価は帳簿価格と近似していることから、当該帳簿価格を時価としております。

# (その他の注記) <u>1.元本の移動</u>

2025年 7月20日現在	
投資信託財産に係る元本の状況	
期首	2025年 1月21日
期首元本額	184,297,495円

2025年 7月20日現在	
期首より2025年 7月20日までの追加設定元本額	4,735,746円
期首より2025年 7月20日までの一部解約元本額	4,735,746円
期末元本額	184,297,495円
2025年 7月20日現在の元本の内訳(*)	
三重県応援・債券ファンド(毎月決算型)	156,746,146円
三重県応援・債券ファンド(1年決算型)	27,551,349円

<sup>\*</sup>は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託毎の元本額

- 2.有価証券関係 該当事項はありません。
- 3. デリバティブ取引関係 該当事項はありません。

#### 2【ファンドの現況】

#### 【純資産額計算書】

#### 三重県応援・債券ファンド(1年決算型)

#### (2025年 7月31日現在)

資産総額	457,109,389円
負債総額	4,555,874円
純資産総額( - )	452,553,515円
発行済数量	356,336,112□
1 単位当たり純資産額 ( / )	1.2700円

#### (参考)アジア・ニュージーランド債券マザーファンド

(2025年7月31日現在)

資産総額	4,048,422,414円
負債総額	円
純資産総額( - )	4,048,422,414円
発行済数量	1,808,637,488□
1 単位当たり純資産額( / )	2.2384円

#### (参考)三重県関連債券マザーファンド

(2025年 7月31日現在)

資産総額	192,160,300円
負債総額	P
純資産総額( - )	192,160,300円
発行済数量	184,297,495□
1 単位当たり純資産額( / )	1.0427円

# 第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

名義書換についてその手続、取扱場所、取次所、代理人の名称及び住所並びに手数料 該当事項はありません。

受益者等に対する特典 該当事項はありません。

内国投資信託受益証券の譲渡制限の内容 該当事項はありません。

# 受益権について

ファンドの受益権は、投資信託振替制度における振替受益権であるため、委託会社は、この信託の受益権を取り扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取り消された場合または 当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合そ の他やむを得ない事情がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。

なお、受益者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変

更の請求、受益証券の再発行の請求を行わないものとします。

#### 受益権の譲渡

受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。

前項の申請のある場合には、上記 の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記 の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等(当該他の振替機関等の上位機関を含みます。)に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとします。

上記 の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めたときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

#### 受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

#### 受益権の再分割

委託会社は、受託会社と協議のうえ、社債、株式等の振替に関する法律に定めるところにしたがい、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

#### 質権口記載又は記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権に係る収益分配金の支払い、解約請求の受付、解約金および償還金の支払い等については、投資信託約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取り扱われます。

#### 第三部【委託会社等の情報】

#### 第1【委託会社等の概況】

#### 1【委託会社等の概況】

#### (1) 資本金の額(2025年7月末日現在)

資本金の額1億円会社が発行する株式の総数2,600,000株発行済株式の総数1,132,101株最近5年間における主な資本金の額の増減あり

年月日	変更後 ( 変更前 )	
2022年11月30日	60億284千円(10億円)	
2023年 3月14日	1億円 (60億284千円)	

#### (2)委託会社の機構(2025年7月末日現在)

#### 委託会社の意思決定機構

委託会社は、12名以内で構成される取締役会により運営されます。

取締役は、委託会社の株主であることを要しません。

取締役は、株主総会において株主によって選任され、その任期は選任後2年以内に終了する事業年度の内最終のものに関する定時株主総会の終結のときまでとします。

取締役会は、社長1名を選定するほか、会長、副社長、専務取締役、および常務取締役 を若干名選任することができます。また、取締役会は取締役の中から代表取締役を若干名 選定することができます。

取締役会は、法令に別段の定めがある場合を除き、原則として、社長が招集します。取締役会の議長は、原則として、社長がこれにあたります。

取締役会の決議は、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役の過半数が出席したうえで、出席した取締役の過半数をもって決します。

運用の意思決定機構

運用委員会は、月1回、運用本部が策定した投資環境分析と運用の基本方針案に基づいて検討を行い、運用の基本方針を決定します。また、運用に関する内規の制定及び改廃等を決定します。委員長は審議・検討結果を執行役員会へ報告します。

また、執行役員会の構成員である業務執行取締役は、審議・検討結果を取締役会へ報告します。

運用戦略会議は、月1回、運用委員会で決定された運用の基本方針に基づいた個別ファンドの具体的な投資戦略について決定又は確認を行います。

ファンドマネージャーは、運用戦略会議で決定又は確認された投資戦略に基づき、ファンド毎に具体的な運用計画を策定し、運用計画に基づいて、運用の指図を行います。

プロダクトモニタリング会議は、月1回、運用のパフォーマンス向上等に資することを 目的に、ファンドの運用パフォーマンスを分析・検証・評価し、ファンドマネージャーに 問題点を指摘して改善を促します。

売買分析会議は、月1回、運用財産に係る運用の適切性確保に資することを目的に、運用指図及び売買発注の事前検証及び事後検証に関する報告、法令諸規則及び約款等の遵守 状況の検証に関する報告及び運用リスク管理状況の検証に関する報告を行います。議長は 会議の結果を執行役員会へ報告します。

また、執行役員会の構成員である業務執行取締役は、会議の結果を取締役会へ報告します。

#### 2【事業の内容及び営業の概況】

当社は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社として証券投資信託の設定を行うとともに、「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者として、その運用(投資運用業)及びその受益権の募集又は私募(第二種金融商品取引業)を行っています。また、「金融商品取引法」に定める投資一任契約にかかる投資運用業、投資助言・代理業を行っています。

2025年7月末日現在、委託会社の運用する証券投資信託は以下のとおりです。(親投資信託を除く。)

種類	本数 (本)	純資産総額(億円)
追加型株式投資信託	148	13,648
追加型公社債投資信託	1	3,541
単位型株式投資信託	37	506
単位型公社債投資信託	3	67
合計	189	17,764

純資産総額について、億円未満を切り捨てているため、合計と合わない場合があります。

# 3【委託会社等の経理状況】

- (1)当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年内閣府令第52号)により作成しております。
  - 財務諸表の金額については、千円未満の端数を切り捨てて記載しております。
- (2) 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当事業年度(2024年4月1日から 2025年3月31日まで)の財務諸表について、東陽監査法人の監査を受けております。

# (1)【貸借対照表】

		(単位:千円)
	前事業年度	当事業年度
	(2024年3月31日現在)	(2025年3月31日現在)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,382,655	14,765,684
有価証券	99,210	73,110
未収委託者報酬	1,705,907	2,072,469
未収運用受託報酬	78,429	15,446
未収投資助言報酬	11,959	11,876
前払費用	115,978	153,984
未収収益	13,481	30,236
その他の流動資産	6,841	12,726
流動資産合計	15,414,463	17,135,533
固定資産		
有形固定資産		
建物	172,509	160,120
器具備品	14,591	13,847
有形固定資産合計	187,100	173,967
無形固定資産		
ソフトウェア	21,685	12,536
電話加入権	2,122	2,122
無形固定資産合計	23,807	14,659
投資その他の資産		
投資有価証券	1,205,407	1,230,152
長期差入保証金	252,250	252,245
前払年金費用	61,691	83,267
その他	480	480
投資その他の資産合計	1,519,829	1,566,145
固定資産合計	1,730,737	1,754,772
資産合計	17,145,200	18,890,306

	前事業年度	当事業年度
	(2024年3月31日現在)	(2025年3月31日現在)
負債の部		
流動負債		
預り金	31,333	28,552
未払金	991,947	1,179,355
未払償還金	5,001	5,001
未払手数料	925,698	1,163,520
その他未払金	61,247	10,833
未払費用	234,454	237,473
未払法人税等	322,685	452,663
未払消費税等	88,053	134,264
未払配当金		200,000
賞与引当金		90,000
流動負債合計	1,668,473	2,322,310
固定負債		

日叫叫为田山首(八巴汉县1601又四叫为	信託受益証券)	(内国投資	有価証券届出書
----------------------	---------	-------	---------

		有価証券届出書(内国投資化
退職給付引当金	278,570	228,723
役員退職慰労引当金	7,490	9,360
資産除去債務	94,372	95,344
繰延税金負債	72,083	114,869
固定負債合計	452,516	448,297
 負債合計	2,120,990	2,770,607
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金		
その他資本剰余金	11,467,068	11,467,068
資本剰余金合計	11,467,068	11,467,068
利益剰余金		
利益準備金	179,830	179,830
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,922,414	3,960,947
利益剰余金合計	3,102,244	4,140,777
株主資本合計	14,669,312	15,707,845
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	354,897	411,853
評価・換算差額等合計	354,897	411,853
	15,024,210	16,119,698
 負債・純資産合計	17,145,200	18,890,306
<del></del>		

# (2)【損益計算書】

		(単位:千円)
	前事業年度	当事業年度
	(自 2023年4月1日	(自 2024年4月1日
	至 2024年3月31日)	至 2025年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	10,123,506	13,077,482
運用受託報酬	108,885	37,259
投資助言報酬	27,675	27,565
その他営業収益	11,259	14,575
営業収益合計	10,271,327	13,156,882
営業費用		
支払手数料	4,867,961	7,012,057
広告宣伝費	121,082	132,774
公告費	15	15
受益権管理費	16,417	15,855
調査費	1,837,996	1,588,269
調査費	236,964	253,114
委託調査費	1,601,031	1,335,154
委託計算費	273,203	297,339
営業雑経費	311,294	353,192
通信費	65,742	64,085
印刷費	158,663	167,468
諸経費	66,665	57,894
協会費	5,247	5,753

# SBI岡三アセットマネジメント株式会社(E12441) 有価証券届出書(内国投資信託受益証券)

諸会費	4,976	5,090
業務委託費	10,000	52,899
営業費用合計	7,427,972	9,399,503
一般管理費		
給料	1,226,095	1,159,164
役員報酬	73,162	76,130
給料・手当	1,103,991	1,079,034
賞与	48,940	4,000
交際費	754	1,852
寄付金	21,265	22,830
旅費交通費	10,992	14,822
租税公課	7,716	15,014
不動産賃借料	259,582	253,559
賞与引当金繰入		90,000
退職給付費用	32,395	9,770
役員退職慰労引当金繰入	1,870	1,870
固定資産減価償却費	28,769	25,220
諸経費	333,346	355,125
一般管理費合計	1,922,788	1,949,229
営業利益	920,566	1,808,149

	前事業年度	当事業年度
	(自 2023年4月1日	(自 2024年4月1日
	至 2024年3月31日)	至 2025年3月31日)
営業外収益		
受取配当金	18,926	44,774
受取利息	93	13,725
有価証券利息		4,822
受取補償金	0	
雑益	5,602	5,53
営業外収益合計	24,623	68,85
営業外費用		
固定資産除却損	0	
為替差損	60	
支払補償費	0	
雑損	463	
営業外費用合計	523	
経常利益	944,665	1,876,99
特別利益		
投資有価証券売却益	17,222	2,08
投資有価証券償還益	173	17,40
為替差益		29
特別利益合計	17,395	19,77
特別損失		
有価証券償還損		3
投資有価証券売却損	4,270	6,58
投資有価証券償還損		1,75
投資有価証券評価損	50,575	
特別損失合計	54,845	8,370

# SBI岡三アセットマネジメント株式会社(E12441) 有価証券届出書(内国投資信託受益証券)

	1
907,215	1,888,396
368,346	645,087
51,664	4,776
316,682	649,863
590,533	1,238,532
	368,346 51,664 316,682

# (3)【株主資本等変動計算書】

# 前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					評価・換	算差額等			
	資本金	資本乗 その他資本 剰余金	当余金 資本剰余金 合計	利益準備金	利益剰余金 その他 利益剰余金 繰越利益剰余 金	利益剰余金合計	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	評価・ 換算差 額等合 計	純資産 合計
当期首残高	100,000	11,467,068	11,467,068	179,830	2,331,880	2,511,710	14,078,778	155,899	155,899	14,234,677
当期変動額										
剰余金の配当										
当期純利益					590,533	590,533	590,533			590,533
株主資本以外の 項目の事業年度 中の変動額(純 額)								198,998	198,998	198,998
当期変動額合計	-	-	1	1	590,533	590,533	590,533	198,998	198,998	789,532
当期末残高	100,000	11,467,068	11,467,068	179,830	2,922,414	3,102,244	14,669,312	354,897	354,897	15,024,210

# 当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

		株主資本					評価・換	算差額等		
	資本金	資本乗 その他資本 剰余金	学生 (1) 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	利益準備金	利益剰余金 その他 利益剰余金 繰越利益剰余	利益剰余金 合計	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	評価・ 換算差 額等合 計	純資産 合計
当期首残高	100,000	11,467,068	11,467,068	179,830	金 2,922,414	3,102,244	14,669,312	354,897	354,897	15,024,210
当期変動額										
剰余金の配 当					200,000	200,000	200,000			200,000
当期純利益					1,238,532	1,238,532	1,238,532			1,238,532
株主資本以外の 項目の事業年度 中の変動額(純 額)								56,955	56,955	56,955
当期変動額合計	1	,		1	1,038,532	1,038,532	1,038,532	56,955	56,955	1,095,488
当期末残高	100,000	11,467,068	11,467,068	179,830	3,960,947	4,140,777	15,707,845	411,853	411,853	16,119,698

#### (重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は総平均法 により算定)

市場価格のない株式等

総平均法による原価法

2. デリバティブ取引等の評価基準及び評価方法

デリバティブ取引

時価法

- 3. 固定資産の減価償却の方法
- (1) 有形固定資産

定率法により償却しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物 15~18年

器具備品 4~15年

#### (2) 無形固定資産

定額法により償却しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間 (5年) に基づく定額法により 償却しております。

#### 4. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

#### (2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法について は、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異の費用処理方法

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(5年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

#### (3) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、当社内規に基づく期末要支給見積額を計上しております。

#### 5. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約に基づく主な履行義務の内容及び収益を認識する通常の時点は次のとおりであります。

#### (1) 委託者報酬

委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき、投資信託財産の日々の純資産総額に対する一定割合として日々認識され計上します。成功報酬は、一部の投資信託につき、契約で指定された日に一定の条件を満たし支払われることが確定した時点で認識され計上します。

### (2) 運用受託報酬

運用受託報酬は、投資一任契約に基づき、契約残高に個別の契約で定めた報酬料率を乗じて算出された 金額を日々認識し計上します。成功報酬は、個別の契約で定める水準を上回る超過運用益に対して支払 われることが確定した時点で認識され計上します。

# (3) 投資助言報酬

投資助言報酬は、投資助言契約に基づき、個別の契約で定める契約残高に報酬料率を乗じて算出された 金額を日々認識し、計上します。

#### 6.外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

# (重要な会計上の見積り)

会計上の見積りにより当事業年度に係る財務諸表にその額を計上した項目であって、翌事業年度に係る財務諸表に重要な影響を及ぼす可能性があるものは、次のとおりです。

繰延税金資産(負債)

#### (1) 当事業年度の財務諸表に計上した金額

繰延税金負債 114,869千円

上記の繰延税金負債114,869千円は、繰延税金資産178,529千円と繰延税金負債293,399千円の相殺後の金額であります。

#### (2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

繰延税金資産は、将来の事業計画に基づく課税所得の発生時期及び金額によって認識しております。また、 既に計上した繰延税金資産については、その回収可能性を毎期検討し、内容の見直しを行っております。

なお、課税所得の見積りは、将来の不確実な相場環境の変動や会社の経営状況などによって認識する金額に 重要な影響を受ける可能性があり、実際に発生した課税所得の時期及び金額が見積りと異なった場合、翌事業 年度の財務諸表において、繰延税金資産の金額に重要な影響を与える可能性があります。また、税制改正によ り実効税率が変更された場合に、翌事業年度以降の財務諸表において認識する金額に重要な影響を与える可能 性があります。

#### (未適用の会計基準等)

- ・「リースに関する会計基準」(企業会計基準第34号 2024年9月13日 企業会計基準委員会)
- ・「リースに関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第33号 2024年9月13日 企業会計基準 委員会) 等

#### (1) 概要

企業会計基準委員会において、日本基準を国際的に整合性のあるものとする取組みの一環として、借手の全てのリースについて資産及び負債を認識するリースに関する会計基準の開発に向けて、国際的な会計基準を踏まえた検討が行われ、基本的な方針として、IFRS第16号の単一の会計処理モデルを基礎とするものの、IFRS第16号の全ての定めを採り入れるのではなく、主要な定めのみを採り入れることにより、簡素で利便性が高く、かつ、IFRS第16号の定めを個別財務諸表に用いても、基本的に修正が不要となることを目指したリース会計基準等が公表されました。

借手の会計処理として、借手のリースの費用配分の方法については、IFRS第16号と同様に、リースがファイナンス・リースであるかオペレーティング・リースであるかにかかわらず、全てのリースについて使用権資産に係る減価償却費及びリース負債に係る利息相当額を計上する単一の会計処理モデルが適用されます。

#### (2) 適用予定日

2028年3月期の期首から適用します。

#### (3) 当該会計基準等の適用による影響

「リースに関する会計基準」等の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

# (表示方法の変更)

#### (損益計算書関係)

前事業年度において、「営業費用」の「諸経費」に含めていた「業務委託費」は、金額的重要性が増した ため、当事業年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の 財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「営業費用」の「諸経費」に表示していた76,665千円は、「業務委託費」10,000千円、「諸経費」66,665千円に組み替えております。

#### (貸借対照表関係)

有形固定資産の減価償却累計額

	前事業年度	当事業年度		
	( 2024年3月31日)	(2025年3月31日)		
建物	86,481千円	98,870千円		
器具備品	130,930 "	129,597 "		
計	217,412 "	228,468 "		

#### (株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1.発行済株式及び自己株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首 株式数	当事業年度増加 株式数	当事業年度減少 株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				
普通株式 (株)	577,400			577,400
A種優先株式(株)	554,701			554,701
自己株式				
普通株式 (株)				
A種優先株式(株)				
合計	1,132,101			1,132,101

#### 2.剰余金の配当に関する事項

該当事項はありません。

3. 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの該当事項はありません。

#### 当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1.発行済株式及び自己株式に関する事項

株式の種類	株式の種類 株式数		当事業年度減少 株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				
普通株式 (株)	577,400			577,400
A種優先株式(株)	554,701			554,701
自己株式				

普通株式 (株)			
A種優先株式(株)			
合計	1,132,101		1,132,101

#### 2.剰余金の配当に関する事項

該当事項はありません。

#### 3.基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額	1 株当たりの配 当額	基準日	効力発生日
2025年6月23日 定時株主総会	A種優先株式	200,000千円	360円55銭	2025年3月31日	2025年6月24日

#### (リース取引関係)

1. ファイナンス・リース取引

該当事項はありません。

#### 2. オペレーティング・リース取引

(借主側)

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

		(単位:千円)
	前事業年度	当事業年度
	(2024年3月31日) (2025年3月31日)	
1年以内	252,205	252,205
1年超	441,359	189,153
合計	693,564	441,359

# (金融商品関係)

#### 1.金融商品の状況に関する事項

#### (1) 金融商品に対する取組方針

当社は、金融商品取引法に定める投資運用業、投資助言・代理業及び第二種金融商品取引業を営んでおります。これらの事業を当社では、自己資金で行っております。

一方、資金運用については、短期的な預金及び債券、投資有価証券での運用を行っております。デリバティブ取引については、保有する投資信託に係る為替の変動リスクに対するヘッジを目的とした先物 為替予約取引を行っており、投機目的の取引は行わない方針であります。

#### (2)金融商品の内容及びそのリスク

当社が保有する主な金融資産は現金及び預金、有価証券、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、投資有価証券及び長期差入保証金であります。

預金は預入先金融機関の信用リスクに晒されております。有価証券及び投資有価証券は発行体の信用 リスクやマーケットリスク等に晒されております。未収委託者報酬は投資信託財産中から当社(委託 者)が得られる報酬であり、未収であるものであります。長期差入保証金は、主に本店の賃貸に伴うも のであり、差入先の信用リスクに晒されております。

金融負債の主なものは、未払金(未払手数料)、未払法人税等であります。未払金(未払手数料)は 委託者報酬中から当社が販売会社に支払うべき手数料であり、未払いのものであります。

デリバティブ取引は、保有する投資信託に係る為替の変動リスクに対するヘッジを目的とした先物為 替予約取引であります。

# (3)金融商品に係るリスク管理体制

当社は経営の健全化及び経営資源の効率化を目的として、リスク管理体制の強化を図り、適切なリスク・コントロールに努めております。金融資産に関わる信用リスク、マーケットリスク等を管理するため、社内規程等に従い、ポジション枠や与信枠等の適切な管理に努めております。

#### 2.金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

前事業年度(2024年3月31日)

(単位:千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 投資有価証券	1,089,716	1,089,716	
(2) 長期差入保証金	252,250	221,769	30,480

「現金及び預金」、「未収委託者報酬」、「未払金(未払手数料)」等は、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似するものであることから、記載を省略しております。 投資信託について、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に従い、投資信託の基準価額を時価とみなしており、「投資有価証券」に当該投資信託が含まれております。

「長期差入保証金」は、合理的に見積りした差入保証金の返還予定時期に基づき、リスク・フリーレートで割引率を算出し割引計算をしております。

#### (注)市場価格のない株式等の貸借対照表計上額

(単位:千円)

	貸借対照表計上額		
非上場株式	115,691		

非上場株式については市場価格がないことから「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」 (企業会計基準適用指針第19号 2020年3月31日)第5項に基づき、時価開示の対象とはしており ません。

#### 当事業年度(2025年3月31日)

(単位:千円)

			1 1- 1 1 1 3 /
	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 投資有価証券	1,114,461	1,114,461	
(2) 長期差入保証金	252,245	204,580	47,664

「現金及び預金」、「未収委託者報酬」、「未払金(未払手数料)」等は、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似するものであることから、記載を省略しております。 投資信託について、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に従い、投資信託の基準価額を時価とみなしており、「投資有価証券」に当該投資信託が含まれております。

「長期差入保証金」は、合理的に見積りした差入保証金の返還予定時期に基づき、リスク・フリーレートで割引率を算出し割引計算をしております。

# (注)市場価格のない株式等の貸借対照表計上額

(単位:千円)

	貸借対照表計上額		
非上場株式	115,691		

非上場株式については市場価格がないことから「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第19号 2020年3月31日)第5項に基づき、時価開示の対象とはしておりません。

# 3.金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価:観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時

#### 価算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価:観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算

定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価:観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれ ぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

#### (1)時価で貸借対照表に計上している金融商品

# 前事業年度(2024年3月31日)

時価で貸借対照表に計上している金融商品

(単位:千円)

	時価				
	レベル1 レベル2 レベル3 合計				
投資有価証券	539,556	550,160		1,089,716	

#### 時価で貸借対照表に計上している金融商品以外の金融商品

(単位:千円)

				<u> </u>
		時何	<b>T</b>	
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
長期差入保証金		221,769		221,769

#### 当事業年度(2025年3月31日)

時価で貸借対照表に計上している金融商品

(単位:千円)

	時価				
	レベル1	レベル2	レベル3	合計	
投資有価証券	673,118	441,343		1,114,461	

#### 時価で貸借対照表に計上している金融商品以外の金融商品

(単位:千円)

				<u> </u>
		時何	<b>T</b>	
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
長期差入保証金		204,580		204,580

#### (注1)金融商品の時価の算定方法

#### 投資有価証券

これらの時価について、上場株式は取引所の価格、債券は取引所の価格又は日本証券業協会が公表する価格等によっております。

#### (注2)時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

株式等については、主たる取引所の最終価格を時価としており、レベル1の時価に分類しております。

非上場投資信託については、委託会社から提示された基準価額等によっており、主に信託財産の構成物のレベルに基づきレベル2に分類しております。

長期差入保証金については、合理的に見積りした差入保証金の返還予定時期に基づき、リスク・フリーレートで割引率を算出し割引計算をしており、レベル2の時価に分類しております。

#### (注3) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度(2024年3月31日)

(単位:千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	13,382,655			
未収委託者報酬	1,705,907			
未収運用受託報酬	78,429			
有価証券及び投資有価証券 その他有価証券のうち満期があるもの				

その他	99,210	189,142	74,213	194,400
長期差入保証金				252,250
合計	15,266,202	189,142	74,213	446,650

# 当事業年度(2025年3月31日)

(単位:千円)

			( -	-12 • 113/
	1年以内	1年超	5年超	10年超
		5年以内	10年以内	
現金及び預金	14,765,684			
未収委託者報酬	2,072,469			
未収運用受託報酬	15,446			
未収投資助言報酬	11,876			
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
その他	73,110	122,598	78,180	171,848
長期差入保証金				252,245
合計	16,938,586	122,598	78,180	424,093

# (有価証券関係)

# 1. その他有価証券

前事業年度(2024年3月31日)

(単位:千円)

			( +	似:十円)
区分	種類	貸借対照表 計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるも				
o o	(1)株式 (2)債券 国債・地方債等 社債 その他	539,556	81,949	457,606
	(3)その他	531,900	442,000	89,900
小計		1,071,456	523,949	547,506
貸借対照表計上額が 取得原価を超えない もの	(1)株式 (2)債券 国債・地方債等 社債 その他 (3)その他	117,470	122,402	4,932
小計		117,470	122,402	4,932
合計		1,188,926	646,352	542,474

(注)市場価格のない株式等(非上場株式等)は、上表には含まれておりません。

((金融商品関係)2.金融商品の時価等に関する事項(注)に記載のとおりであります。)

# 当事業年度(2025年3月31日)

(単位:千円)

			( —	14 · 1   1 / )
区分	種類	貸借対照表	取得原価	差額
		計上額		
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるも				
O O	(1)株式 (2)債券 国債・地方債等 社債 その他	673,118	81,624	591,493
	(3)その他	381,166	322,000	59,166
小計		1,054,284	403,624	650,660

貸借対照表計上額が 取得原価を超えない もの	(1)株式 (2)債券 国債・地方債等 社債 その他 (3)その他	133,287	146,407	13,120
小計		133,287	146,407	13,120
合計		1,187,571	550,032	637,539

(注)市場価格のない株式等(非上場株式等)は、上表には含まれておりません。 ((金融商品関係)2.金融商品の時価等に関する事項(注)に記載のとおりであります。)

# 2. 事業年度中に売却したその他有価証券

前事業年度 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位:千円)

			( ·
種類	売却額	売却益の	売却損の
		合計額	合計額
(1)株式			
(2)債券			
国債・地方債等			
社債			
その他			
(3)その他	246,952	17,222	4,270
合計	246,952	17,222	4,270

#### 当事業年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(単位:千円)

			( <del>+</del> 1111)
種類	売却額	売却益の	売却損の
		合計額	合計額
(1)株式			
(2)債券			
国債・地方債等			
社債			
その他			
(3)その他	558,081	2,082	6,588
合計	558,081	2,082	6,588

# 3.減損処理を行った有価証券

前事業年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

当事業年度における減損処理額は、50,575千円(うち、その他50,575千円)であります。

当事業年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

該当ありません。

時価のある株式等については、決算日の時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合には、原則として減損処理を行い、30%以上50%未満下落した場合には、回復可能性があると認められるものを除き、減損処理を行っております。

#### (デリバティブ取引関係)

前事業年度については、デリバティブ取引を利用していないため該当事項はありません。また、当事業年度については、期末時点で保有していないため、記載しておりません。

#### (退職給付関係)

1.採用している退職給付制度の概要

当社の退職給付制度は、確定拠出年金制度(証券総合型DC岡三プラン)、確定給付企業年金制度及び

退職一時金制度から構成されております。

# 2.確定給付制度

# (1)退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

(単位:千円)

		(112.113)
	前事業年度	当事業年度
	( 自 2023年4月1日	( 自 2024年4月1日
	至 2024年3月31日)	至 2025年3月31日)
退職給付債務の期首残高	514,185	461,310
勤務費用	42,791	34,013
利息費用	2,056	3,413
数理計算上の差異の発生額	48,700	17,114
退職給付の支払額	49,654	102,581
その他	630	-
退職給付債務の期末残高	461,310	379,042

# (2)年金資産の期首残高と期末残高の調整表

(単位:千円)

		(+12.111)
	前事業年度	当事業年度
	( 自 2023年4月1日	( 自 2024年4月1日
	至 2024年3月31日)	至 2025年3月31日)
年金資産の期首残高	341,266	368,298
期待運用収益	1,706	1,841
数理計算上の差異の発生額	29,842	15,099
事業主からの拠出額	15,123	13,649
退職給付の支払額	19,641	45,026
年金資産の期末残高	368,298	323,663

# (3)退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

(単位:千円)

		(+12,111)
	前事業年度	当事業年度
	( 2024年3月31日)	(2025年3月31日)
積立型制度の退職給付債務	222,295	181,430
年金資産	368,298	323,663
	146,002	142,232
非積立型制度の退職給付債務	239,014	197,611
未積立退職給付債務	93,012	55,379
未認識数理計算上の差異	123,866	90,076
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	216,878	145,455
退職給付引当金	278,570	228,723
前払年金費用	61,691	83,267
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	216,878	145,455

# (4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

(単位:千円)

	(十四・111)
前事業年度	当事業年度
( 自 2023年4月1日	( 自 2024年4月1日
至 2024年3月31日)	至 2025年3月31日)

勤務費用	42,791	34,013
利息費用	2,056	3,413
期待運用収益	1,706	1,841
数理計算上の差異の費用処理額	21,994	35,804
確定給付制度に係る退職給付費用	21,147	218

# (5)年金資産に関する事項

年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

	前事業年度	当事業年度
	(2024年3月31日)	(2025年3月31日)
株式	44.0%	43.1%
一般勘定	19.7%	20.7%
債券	22.1%	21.5%
その他	14.2%	14.7%
合計	100.0%	100.0%

# 長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率は、保有する年金資産のポートフォリオ、過去の運用実績、運用方 針、及び市場の動向等を考慮し設定しております。

# (6)数理計算上の計算基礎に関する事項

主要な数理計算上の計算基礎(加重平均で表わしております。)

•	•	
	前事業年度	当事業年度
	(自 2023年4月1日	( 自 2024年4月1日
	至 2024年3月31日) 至 20	
割引率	0.74%	1.57%
長期期待運用収益率	0.50%	0.50%

# 3.確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度12,397千円、当事業年度11,041千円であります。

# (税効果会計関係)

# 1.繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

		(単位:千円)
	前事業年度	当事業年度
	(2024年3月31日)	(2025年3月31日)
繰延税金資産		
退職給付引当金	96,357	81,036
役員退職慰労引当金	2,590	3,316
賞与引当金		31,131
未払金(賞与)	15,565	
その他有価証券評価差額金	1,706	4,648
投資有価証券評価損	20,505	11,790
資産除去債務	32,643	33,780
未払事業税	29,366	41,892
その他	8,548	11,144
繰延税金資産小計	207,283	218,739

評価性引当額	38,409	40,209
	168,874	178,529
操延税金負債		
その他有価証券評価差額金	189,382	230,334
未収配当金	4,179	7,494
資産除去債務に対応する除去費用	26,057	26,068
前払年金費用	21,339	29,501
	240,958	293,399
繰延税金資産(負債)の純額 	72,083	114,869
<del></del>		

# 2 . 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律(令和7年法律第13号)」が2025年3月31日に国会で成立したことに伴 ・所得税法等の一部を改正する法律(受和7年法律第13号)」が2025年3月31日に国会で成立したことに伴い、2026年4月1日以後開始する事業年度より、「防衛特別法人税」の課税が行われることになりました。これに伴い、2026年4月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異に係る繰延税金資産及び繰延税金負債については、法定実効税率を34.59%から35.43%に変更し計算しております。 この変更により、当事業年度の繰延税金負債の金額(繰延税金資産の金額を控除した金額)は4,348千円増加し、その他有価証券評価差額金が5,161千円、法人税等調整額が812千円、それぞれ減少しております。

3.法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳 前事業年度(2024年3月31日)

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下である ため注記を省略しております。

# 当事業年度(2025年3月31日)

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下である ため注記を省略しております。

#### (資産除去債務関係)

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

1. 当該資産除去債務の概要

本店の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務であります。

2. 当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を取得から50年と見積り、割引率は1.030%を使用して資産除去債務の金額を計算しており ます。

#### 3. 当該資産除去債務の総額の増減

		(単位:千円)
	前事業年度	当事業年度
	(自 2023年4月1日	( 自 2024年4月1日
	至 2024年3月31日)	至 2025年3月31日)
期首残高	93,410	94,372
有形固定資産の取得に伴う増加額		
時の経過による調整額	962	972
資産除去債務の履行による減少額		
期末残高	94,372	95,344

#### (収益認識関係)

(1)顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前事業年度

(単位:千円) 委託者報酬 10,123,506

運用受託報酬	108,885
投資助言報酬	27,675
その他営業収益	11,259
合計	10,271,327

#### 当事業年度

	(単位:千円)
委託者報酬	13,077,482
運用受託報酬	37,259
投資助言報酬	27,565
その他営業収益	14,575
	13,156,882

#### (2)収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報は、(重要な会計方針)5.収益及び費用の計上基準に記載のとおりであります。

(3) 当事業年度及び翌事業年度以降の収益の金額を理解するための情報顧客との契約から生じた債権は、以下のとおりであります。

#### 前事業年度

	(単位:千円)
未収委託者報酬	1,705,907
未収運用受託報酬	78,429
未収投資助言報酬	11,959
合計	1,796,295

#### 当事業年度

	(単位:千円)
未収委託者報酬	2,072,469
未収運用受託報酬	15,446
未収投資助言報酬	11,876
合計	2,099,792

# (セグメント情報等)

#### 1.セグメント情報

#### (1)報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は「投資信託部門」及び「投資顧問部門」ごとに、経営戦略を立案・決定し、経営資源の配分及び業績の評価を行っております。

なお、「投資顧問部門」のセグメントの売上高、利益又は損失の金額及び資産の額がいずれも事業 セグメントの合計額の10%未満でありますので、報告セグメントは「投資信託部門」のみでありま す。

報告セグメントである「投資信託部門」では投資信託の運用、商品開発等を行っております。 報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略 しております。

(2)報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法 報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略 しております。

(3)報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報 前事業年度 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)

報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略 しております。

当事業年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略 しております。

(4)報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

前事業年度 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)

報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略 しております。

当事業年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略 しております。

2. 関連情報

前事業年度 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(1) 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

(3) 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

# 当事業年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(1) 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

(3) 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

3.報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

- 4.報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報 該当事項はありません。
- 5.報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報 該当事項はありません。

#### (関連当事者情報)

1. 関連当事者との取引

財務諸表提出会社と関連当事者との取引 前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

									-	
種類	会社等の 名称又は 氏名	所在地	資本金又は 出資金 (千円)	事業の内 容又は職 業	議決権等 の所有 (被所 有)割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
その他の 関係会社 の子会社	岡三証券 株式会社	東京都 中央区	5,000,000	証券業	-	当社ファン ドの募集取 扱	支払手数料   の支払   (注1)	3,113,287	未 払 手 料	630,717

(注) 1.取引条件及び取引条件の決定方針

過去の取引条件及びファンドの商品性を勘案して決定しております。

当事業年度(自 2024年4月1日 至2025年3月31日)

#### 財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

種類	会社等の 名称又は 氏名	所在地	資本金又は 出資金 (千円)	事業の内 容又は職 業	議決権等 の所有 (被所 有)割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
その他の 関係会社 の子会社	岡三証券 株式会社	東京都 中央区	5,000,000	証券業	-	当社ファン ドの募集取 扱	支払手数料 の支払 (注1)	4,281,619	未 払 手 数 料	813,246

(注) 1.取引条件及び取引条件の決定方針

過去の取引条件及びファンドの商品性を勘案して決定しております。

- 2.親会社又は重要な関連会社に関する注記
- (1) 親会社情報
  - SBIホールディングス株式会社(東京証券取引所に上場)
  - SBIファイナンシャルサービシーズ株式会社(非上場)
  - SBIFS合同会社(非上場)
- (2) 重要な関連会社の要約財務情報 該当事項はありません。

# (1株当たり情報)

	前事業年度	当事業年度		
	(2024年3月31日)	(2025年3月31日)		
1株当たり純資産額	13,271円09銭	14,238円74銭		
1株当たり当期純利益金額	521円63銭	1,094円01銭		

- (注)1.潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。
  - 2.1株当たり当期純利益金額の算定上、参加型株式については普通株式と同様に扱っており、普通株式の期中平均株式数に含めております。
  - 3.1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前事業年度	当事業年度	
	(自 2023年4月1日	( 自 2024年4月1日	
	至 2024年3月31日)	至 2025年3月31日)	
当期純利益金額	590,533千円	1,238,532千円	
普通株主に帰属しない金額			

SBI 岡三アセットマネジメント株式会社(E12441) 有価証券届出書(内国投資信託受益証券)

普通株式に係る当期純利益	590,533千円	1,238,532千円
普通株式の期中平均株式数	1,132,101株	1,132,101株

#### 4.1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

111-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11	10, 11, 11 = 11 1 1 1		
	前事業年度	当事業年度	
	(2024年3月31日)	(2025年3月31日)	
純資産の部の合計額	15,024,210千円	16,119,698千円	
純資産の部から控除する合計額			
普通株式に係る期末の純資産額	15,024,210千円	16,119,698千円	
1株当たり純資産額の算定に用いられた			
期末の普通株式の数	1,132,101株	1,132,101株	
(うちA種優先株式)	(554,701 株)	(554,701 株)	

(注) A種優先株式は、残余財産の分配について普通株式と同順位であるため、1株当たり純資産額の 算定上、その普通株式相当数を期末の普通株式の数に含めて計算しております。

#### (重要な後発事象) 該当事項はありません。

#### 4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと (投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるお それがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)。

運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)。

通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等(委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下において同じ。)又は子法人等(委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。)と有価証券の売買その他の取引又は店頭デリバティブ取引を行うこと。

委託会社の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、 運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこ と。

上記 に掲げるもののほか、委託会社の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

# 5【その他】

# (1) 定款の変更等

2022年11月30日付で、株式の譲渡制限、優先株式の発行と優先株式に係る優先配当、非業務

執行取締役の責任限定契約等に関する定款変更を行いました。

2023年3月27日付で、監査役会の廃止に伴う定款変更を行いました。

また、2023年7月1日付で、商号の変更(新商号 SBI岡三アセットマネジメント株式会社)に関する定款変更を行いました。

#### (2) 訴訟事件その他の重要事項

岡三アセットマネジメント株式会社は、SBIホールディングス株式会社の完全子会社であるSBIファイナンシャルサービシーズ株式会社に第三者割当増資を行い、2022年11月30日付で、SBIホールディングス株式会社の連結子会社並びに株式会社岡三証券グループの持分法適用関連会社となりました。

#### 第2【その他の関係法人の概況】

- 1【名称、資本金の額及び事業の内容】
  - (1)「受託会社」

三井住友信託銀行株式会社

資本金の額

2025年3月末日現在、342,037百万円

事業の内容

銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律(兼営法)に基づき信託業務を営んでいます。

(2)「販売会社」(資本金の額は、2025年3月末日現在)

名称	資本金の額(百万円)	事業の内容
岡三証券株式会社	5,000	「金融商品取引法」に定める第一種金融 商品取引業を営んでいます。

#### 2【関係業務の概要】

- (1)「受託会社」は、主に以下の業務を行います。 投資信託財産の保管、管理及び計算 委託会社の指図に基づく投資信託財産の処分
- (2)「販売会社」は、主に以下の業務を行います。

受益権の募集の取扱い

収益分配金の再投資

収益分配金、償還金及び解約金の支払いの取扱い

投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)、運用報告書の交付の取扱い

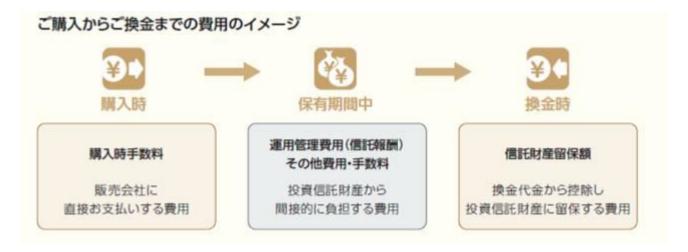
解約請求の受付、買取請求の受付・実行

#### 3【資本関係】

(持株比率5.0%以上を記載します。) 該当事項はありません。

#### 第3【その他】

- 1 目論見書の別称として「投資信託説明書(交付目論見書)」及び「投資信託説明書(請求目論 見書)」という名称を用いることがあります。
- 2 目論見書の表紙等にロゴ・マーク、図案を使用し、ファンドの商品分類、形態等を表示する文言を記載すること及び次の事項を記載することがあります。
  - ・金融商品取引法第13条の規定に基づく目論見書である旨
  - ・目論見書の使用開始日
  - ・委託会社の名称、金融商品取引業者登録番号
  - ・委託会社の照会先(ホームページアドレス、電話番号及び受付時間)
  - ・請求目論見書の入手方法及び投資信託約款が請求目論見書に掲載されている旨
  - ・請求目論見書は投資者の請求により販売会社から交付される旨及び当該請求を行った場合 にはその旨の記録をしておくべきである旨
  - ・有価証券届出書の効力発生及びその確認方法に関する事項
  - ・ファンドの財産は受託会社により保管され、信託法に基づき分別管理されている旨
  - ・「ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。」という旨
- 3 届出書本文「第一部証券情報」、「第二部ファンド情報」に記載の内容について、投資者の理解を助けるため、当該内容を説明した図表、指数、グラフ等を付加して目論見書の当該内容に関連する箇所に記載することがあります。
- 4 投資信託説明書(請求目論見書)の巻末に、ファンドの投資信託約款を添付します。
- 5 目論見書は電子媒体等として使用されるほか、インターネット等に掲載されることがあります。
- 6 目論見書に以下の趣旨の文言もしくは図の全部または一部を記載することがあります。



- 7 有価証券届出書を個別に提出している複数のファンドの実質的な投資対象資産に共通性がある場合には、当該複数のファンドを一つの投資信託説明書(交付目論見書)で説明することがあります。このため、有価証券届出書に他のファンドの情報を合わせて記載することがあります。
- 8 当ファンドとスイッチング対象ファンドにかかる投資信託説明書(交付目論見書)を一体のものとして使用することがあります。

EDINET提出書類 SBI岡三アセットマネジメント株式会社(E12441) 有価証券届出書 ( 内国投資信託受益証券 )

# 独立監査人の監査報告書

2025年6月16日

SBI岡三アセットマネジメント株式会社 取締役会 御中

東陽監査法人東京事務所

指 定 社 員 公認会計士 鈴木 裕子 業務執行社員

指 定 社 員 公認会計士 松本 直也 業務執行社員

#### 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているSBI岡三アセットマネジメント株式会社の2024年4月1日から2025年3月31日までの第61期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、SBI岡三アセットマネジメント株式会社の2025年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。 監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、 監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分か つ適切な監査証拠を入手したと判断している。

# その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその 監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

# 財務諸表に対する経営者及び監査役の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による 重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財 務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があ

り、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合 に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに 対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、 意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する 内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の 見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した 監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な 不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる 場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関 する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが 求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来 の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に 準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並び に財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部 統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項に ついて報告を行う。

# 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注)1.上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
  - 2.XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

# 独立監査人の監査報告書

2025年3月10日

SBI岡三アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

東陽監査法人 東京事務所

指定社員

公認会計士 榎倉昭夫

業務執行社員

指定社員

業務執行社員

公認会計士 大橋 睦

#### 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファ ンドの経理状況」に掲げられている「三重県応援・債券ファンド(1年決算型)」の2024年1月23 日から2025年1月20日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算 書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準 に準拠して、「三重県応援・債券ファンド(1年決算型)」の2025年1月20日現在の信託財産の状 態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示してい るものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行っ た。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載され ている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、SBI岡三アセットマネ ジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を 果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断し ている。

# その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書(訂正有価証券届出書を含む。)に含 まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記 載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査 法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、 その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるか どうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候が あるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合に は、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

# 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸 表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務 諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適 切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づい て継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

#### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査 人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連 する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準 に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、 並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

SBI岡三アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注)1.上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
  - 2.XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

# 独立監査人の中間監査報告書

2025年9月10日

SBI岡三アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

東陽監査法人東京事務所

業務執行社員

指定社員 公認会計士 大橋 睦

指 定 社 員 公認会計士 小西正毅 業務執行社員

#### 中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている「三重県応援・債券ファンド(1年決算型)」の2025年1月21日から2025年7月20日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、「三重県応援・債券ファンド(1年決算型)」の2025年7月20日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間(2025年1月21日から2025年7月20日まで)の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

#### 中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、SBI岡三アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

#### 中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚 偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人 の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。な

お、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又 は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした 監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。

- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監 査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財 務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手 した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重 要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認めら れる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な 不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付 意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証 拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能 性がある。
- 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

SBI岡三アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注)1.上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
  - 2.XBRLデータは監査の対象には含まれていません。